

Canon

PowerShot **SX70 HS**

活用ガイド

目次

基本的な使いかた

撮影

再生

無線機能

機能設定

アクセサリー

付録

索引

日本語

お使いになる前にお読みください

- 必ず事前に試し撮りをし、撮影後は画像を再生して画像が正常に記録されていることを確認してください。万が一、カメラやメモリーカードなどの不具合により、画像の記録やパソコンへの取り込みができなかったときの記録内容の補償については、ご容赦ください。
- このカメラで記録した画像は、個人として楽しむなどの他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示会などには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限していることがありますのでご注意ください。
- このカメラの保証書は国内に限り有効です。万が一、海外旅行先で故障や不具合が生じたときは、帰国したあと、修理受付窓口へご相談ください。
- モニターは、非常に精密度の高い技術で作られており 99.99%以上の有効画素がありますが、画素欠けや、黒や赤の点が現れたままになることがあります。これは故障ではないため、記録される画像には影響ありません。
- このカメラは、長い時間お使いになっていると、カメラの温度が高くなることがあります。これは故障ではありません。

本書の見かた

- トップページの右端にある章のタイトルをクリックすると、各章の先頭ページに移動します。
- ページ下部のアイコンをクリックすると、ページを移動できます。
 - 🏠：トップページに移動します。
 - ↶：ひとつ前に表示したページに戻ります。
 - ◀：前ページに移動します。
 - ▶：次ページに移動します。
- すべての機能が初期状態になっていることを前提に説明しています。
- 撮影の操作説明では、どのモードでの説明かを示すタブ（例： **P** ）を記載しています。タブで示したモード以外でも設定可能な場合があります。
- ⓘ：知っておいていただきたい重要事項や、上手に使うためのヒントを示しています。

文章中の表記

- カメラのボタンやダイヤルは、ボタンやダイヤルに表記されている絵文字を使って示しています。
- 次の操作部は、絵文字で示しています。



- 画面に表示される絵文字や文言は、[] つきで示しています。
- 図やイラストの中には、手順に沿った番号が記載されているものがあります。
- 📖 xx：参照ページを示しています。xx はページ数を示しています。
- このカメラで使えるメモリーカードのことを「カード」と表記しています。

目次

お使いになる前にお読みください.....	2
本書の見かた.....	3
文章中の表記.....	3
やりたいこと目次.....	12
安全上のご注意.....	15
基本的な使いかた	18
準備する	19
ストラップを付ける	19
バッテリーを充電する	20
カード（市販品）を準備する.....	21
バッテリーとカードを入れる／取り出す	22
日付／時刻／エリアと言語を設定する	24
カメラを構える.....	26
使ってみる	27
撮る	27
見る	29
各部のなまえ.....	30
前面	30
背面	31
ファインダーの使いかた	32
モニターの向きや角度の変えかた	33
ランプの表示.....	34
撮影モードを選ぶ.....	35
カメラの機能を設定する	36
クイック設定画面の使いかた.....	36
MENU（メニュー）の使いかた.....	37
クイック設定画面で設定できる機能.....	39
MENU（メニュー）の設定項目一覧.....	40

撮影モードの画面.....	42
撮影画面に表示される枠	43
撮影時の画面表示の切り換えかた.....	44
再生時の画面表示の切り換えかた.....	45
ヒストグラムを切り換える.....	46
文字の入力方法.....	47
撮影	48
カメラまかせで撮る（オートモード／プラスムービー オートモード）.....	49
手ブレ補正アイコン	52
プラスムービーオートで撮る.....	53
パノラマショットを撮る（パノラマモード）	54
動きのある被写体を撮る（スポーツモード）	56
いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーンモード）	57
自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮りモード）.....	60
いろいろな効果をつけて撮る （クリエイティブフィルターモード）.....	61
ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）.....	64
いろいろな動画を撮る（動画モード）.....	65
シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る （動画マニュアル露出）	66
プログラム AE で撮る（P モード）.....	68
シャッタースピードを決めて撮る（Tv モード）.....	69
絞り数値を決めて撮る（Av モード）.....	71
シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（M モード）	72
被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）	74
明るさ（露出）を固定する（AE ロック）	75
見失った被写体を見つけやすくする （フレーミングアシスト - 探索）	76
表示範囲を変える	77

被写体の動きに応じて自動でズームさせる（オートズーム）	78
画面に対して保たれる顔の大きさを変える	80
ズーム倍率を上げたときに被写体を見失いにくくする （フレーミングアシスト - 固定）	81
被写体を中央に表示しない	82
近くの被写体を撮る（マクロ撮影）	83
マニュアルフォーカスで撮る	84
ピント合わせをしやすい表示にする（MF ピーキング）	85
AF ロックで撮る	86
記録画質を変える	87
RAW 画像を記録する	87
縦横比（アスペクト比）を変える	89
撮影直後の画像表示時間を変える	90
ストロボモードを変える	91
ストロボ撮影時に明るさ（露出）を固定する（FE ロック）	92
ストロボに関する機能を設定する	94
ストロボの調光量を補正する	94
ストロボ発光量を設定する	95
ストロボ発光のタイミングを変える	96
赤目緩和機能を使う	97
セーフティ FE を設定する	97
連続して撮る	98
セルフタイマーを使う	99
日付を写し込む	100
明るさを変える（露出補正）	101
露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）	102
ISO 感度を変える	104
ISO オートの設定を変える	104
明るさ・コントラストを自動補正する （オートライティングオブティマイザ）	105

測光方式を変える	106
測光タイマーを設定する	107
露出 Simulation 機能を設定する	108
自然な色あいにする（ホワイトバランス）	109
マニュアルホワイトバランス	110
好みの色あいを選ぶ（スタイル設定）	112
サーボ AF で撮る	113
AF 方式を選ぶ	114
ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）	115
AF フレームの位置を変える	117
フォーカス設定を切り換える	118
AF 補助光（ランプ）の投光を設定する	119
手ブレ補正の設定を変える	120
非常に強い手ブレを補正する	121
自動水平補正を使う	122
デジタルテレコンバーターを使う	123
ズーム位置や MF 位置を記憶する	124
動画の記録サイズを変える	125
録音に関する設定をする	126
録音レベル（録音音量）を設定する	126
ウィンドカット	127
アッテネーター	127
動画サーボ AF を設定する	128
動画オートスローシャッターを使う	129
ミニチュア模型のような動画を撮る（ジオラマ風動画）	130
ビデオスナップを撮る	132
タイムラプス動画を撮る	134
HDMI 出力時の情報表示を設定する	135
ダイジェスト形式を設定する	136

再生	137
見る	138
拡大して見る	140
短編動画（ダイジェスト動画）を見る	141
一覧表示（インデックス表示）で探す	142
動画を編集する	143
動画の前後を削除する	143
4K 動画のフレームを静止画として切り出す	145
ダイジェスト動画を編集する	146
画像を保護する（画像プロテクト）	148
まとめて保護する	149
画像を回転する	151
画像を消す	152
まとめて消す	153
印刷指定（DPOF）をする	155
印刷指定（DPOF）した画像を印刷する	156
フォトブック指定をする	157
赤目を補正する	158
画像を切り抜く（トリミング）	159
画像を小さくする（リサイズ）	161
お気に入り設定をする（レーティング）	162
スライドショーで見る	163
指定した条件で画像を探す	164
電子ダイヤルで画像を探す	165
ビデオスナップを結合して動画作品を作る	166
前回の画像から再生する	168

無線機能	169
無線機能でできること	170
カメラ内の画像をスマートフォンに保存する	172
Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する	176
閲覧画像を制限する	178
スマートフォンでできること	179
撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する	179
スマートフォンでライブビュー映像を見ながら	
リモート撮影する	179
スマートフォンでカメラを操作する	180
撮影する画像に位置情報を付加する	180
プリンターと Wi-Fi 接続する	182
アクセスポイント (Wi-Fi 親機) 経由での接続方法	184
パソコンに画像を自動送信する	186
Web サービスへ画像を送る	190
利用する Web サービスの情報を登録する	190
Web サービスに画像を送る	194
2 回目以降の Wi-Fi 接続	195
Wi-Fi 接続を終了する	196
Bluetooth でペアリングしている機器の登録を解除する	197
接続設定を変更／削除する	198
機能設定	199
フォルダを選択／作成する	200
画像番号を変える	201
縦位置画像の自動回転表示を設定する	202
カードを初期化する	203
機能ガイドを設定する	205
エコモードを使う	206
節電機能の設定を変える	207

画面の明るさを変える	208
日付／時刻／エリアを変更する	209
言語を変更する	210
ビデオ方式を設定する	211
電子音の設定を変える	212
音量を変える	213
HDMI 出力時の解像度を設定する	214
ズームボタンの機能を変える	215
AF フレーム選択ボタンと AE ロックボタンを入れ換える	216
撮影時の情報の表示内容を設定する	217
撮影画面表示の優先項目を設定する	218
画面の表示先を設定する	219
レンズ収納時間を変える	220
鏡像表示の設定を変える	221
起動画面の表示を設定する	222
距離表示の単位を変える	223
カメラの詳細機能を設定する	224
操作ボタンをカスタマイズする	225
カスタム撮影モード (C1 / C2 モード)	227
カメラの設定を初期状態に戻す	229
画像に記録する著作権の情報を登録する	230
QR コードから使用説明書やソフトウェアを ダウンロードする	231
認証マークを表示する	232
よく使う撮影メニューを登録する (マイメニュー)	233
マイメニュータブのタブ名を変える	234
マイメニュータブを削除する	235
マイメニュータブをすべて削除する	235
登録項目をすべて削除する	235
マイメニューの表示方法を変える	236

アクセサリ	237
別売アクセサリ	238
電源	238
その他	238
プリンター	239
別売アクセサリの使いかた	240
テレビで見る	240
レンズフード（別売）を使う	241
レンズフィルター（別売）を使う	242
リモコン撮影する	243
リモートスイッチ（別売）を使う	244
外部マイクを使う	245
画像をパソコンに取り込む	246
印刷する	247
付録	249
日ごろの取り扱いについて	250
故障かな？と思ったら	251
画面の表示内容一覧	255
撮影時	255
再生時	257
無線機能について	259
セキュリティーについて	260
第三者のソフトウェア	261
カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときのご注意	264
商標、ライセンスについて	265
このガイドについて	267
索引	268

やりたいこと目次

撮る

- カメラまかせで写真を撮りたい（オートモード、プラスムービーオートモード）
 -  49、 53
- 自分撮りに最適な設定で撮りたい（自分撮り）
 -  60
- パノラマ写真を撮りたい（パノラマショット）
 -  54

人を上手に撮りたい



人をきれいに
( 57)

いろいろなシーンにあわせて撮りたい



スポーツ
( 56)



手持ち夜景
( 57)



花火
( 57)



料理
( 57)

効果をつけて撮りたい



肌を美しく
([61](#))



モノクロで
([61](#))



柔らかな雰囲気
([61](#))



魚眼レンズのように
([61](#))



油絵のように
([61](#))



水彩画のように
([61](#))



トイカメラ風に
([61](#))



ミニチュア模型のように
([64](#)、[130](#))

- 人の顔を上手に撮りたい
 - [49](#)、[57](#)、[114](#)
- ストロボ禁止の場所で撮りたい（ストロボ発光禁止）
 - [91](#)
- 自分も一緒に写りたい（セルフタイマー撮影）
 - [99](#)
- 画像に日付を写し込みたい
 - [100](#)
- 写真と一緒に動画を記録したい
 - [53](#)

▶ 見る

- 画像を見たい
 - [138](#)
- 自動再生で見たい（スライドショー）
 - [163](#)
- テレビで見たい
 - [240](#)

- 画像を素早く探したい
 - 142、164、165
- 画像を消したい
 - 152

🎥 動画を撮る／見る

- 動画を撮りたい
 - 49、65
- 動画を見たい
 - 138

🖨️ 印刷する

- 写真を印刷したい
 - 155、182、247

💻 残す

- パソコンに画像を取り込みたい
 - 246

🌐 Wi-Fi 機能を使う

- スマートフォンに画像を送りたい
 - 172、179
- 写真を印刷したい
 - 182
- Web サービスで画像を共有したい
 - 190
- パソコンに画像を送りたい
 - 186

安全上のご注意

- 安全に使っていただくための注意事項です。必ずお読みください。
- お使いになる方だけでなく、他人への危害や損害を防ぐためにお守りください。



警告

死亡や重傷を負うおそれがある内容です。

- 乳幼児の手の届くところに置かない。
ストラップを首に巻き付けると、窒息することがあります。
- 指定外の電源は使わない。
- 分解や改造をしない。
- 強い衝撃や振動を与えない。
- 破損したときは、内部に触れない。
- 煙が出ている、異臭がするなどの異常が発生したときは使わない。
- アルコール、ベンジン、シンナーなどの有機溶剤で手入れしない。
- 液体でぬらしたり、内部に液体や異物を入れない。
- 内部に液体や異物を入れない。
- 可燃性ガスを含んだ空気中では使用しない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- バッテリーや電池を使うときは、次のことに注意する。

- 指定外の製品で使わない。
- 熱したり、火中投入しない。
- 指定外の製品で充電しない。
- 端子に他の金属や金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 液漏れしたものは使わない。
- 廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

感電、破裂、火災の原因となります。

液漏れして身体や衣服についたときは、水でよく洗い流す。目に入ったときは、きれいな水で十分洗ったあと、すぐ医師に相談してください。

- バッテリーチャージャーや AC アダプターを使うときは、次のことに注意する。

- 電源プラグやコンセントのほこりを、定期的に乾いた布で拭き取る。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグの差し込みが不十分なまま使わない。
- 電源プラグや端子に金属製のピンやゴミを触れさせない。
- 雷が鳴り出したら、コンセントにつながれたバッテリーチャージャーや AC アダプターに触れない。
- 電源コードに重いものをのせたり、傷つけたり、破損させたり、加工したりしない。
- 使用中および使用後すぐに、製品に布などをかけない。
- 電源に長時間つないだままにしない。

感電、破裂、火災の原因となります。

- 長時間、身体と同じ部位に触れさせたまま使わない。

熱いと感じなくても、皮膚が赤くなったり、水ぶくれができたりするなど、低温やけどの原因となることがあります。気温の高い場所で使うときや、血行の悪い方や皮膚感覚の弱い方などが使うときは、三脚などを使ってください。

- 使用が禁止されている場所では、電源を切るなどの指示に従う。

電波の影響で機器類が誤動作し、事故の原因となるおそれがあります。



注意

傷害を負う可能性がある内容です。

- ストロボを目に近付けて発光しない。

目をいためる恐れがあります。

- ストラップ使用時は、他のものに引っ掛けたり、強い衝撃や振動を与えない。

- レンズを強く押したり、ぶつけたりしない。

けがやカメラの故障の原因となります。

- ストロボを指や布などで覆ったまま、発光させない。

やけどや故障の原因となります。

- 製品を高温や低温となる場所に放置しない。

製品自体が高温や低温になり、触れるとやけどやけがの原因となります。

注意

物的損害を負う可能性がある内容です。

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けない。

撮像素子やカメラの内部が損傷することがあります。

- 砂浜や風の強い場所で使用するときは、カメラの内部にホコリや砂が入らないようにする。

- ストロボに汚れやホコリなどの異物がついたときは、綿棒などで取り除く。

そのまま発光させると、発光熱により、付着物の発煙や故障の原因となることがあります。

- 使用しないときは、製品からバッテリーや電池を取り外して保管する。

液漏れにより故障の原因となることがあります。

- バッテリーや電池を廃却するときは、接点にテープを貼るなどして絶縁する。

他の金属と接触すると、発火、破裂の原因となることがあります。

- バッテリーチャージャーを使用する製品では、使用しないときはコンセントから外す。また、布などをかけたまま使用しない。

長時間接続しておくと、発熱、変形して火災の原因となることがあります。

- 専用バッテリーを使用する製品では、ペットの近くにバッテリーを置かない。

バッテリーに噛みついたとき、バッテリーの液漏れ、発熱、破裂により、故障や火災の原因となることがあります。

- 複数の電池を使用する製品では、充電状態の異なる電池、購入時期の異なる電池を混ぜて使用しない。また、電池の「+」「-」端子を逆にして入れない。

故障の原因となることがあります。

- カードへの記録／読み出し中は、「電源を切る」、「カード／バッテリー収納部のふたを開ける」、「振動や衝撃を与える」ことはしない。

画像が壊れて表示できなくなったり、カメラやカードが故障する原因となることがあります。

- カードを間違った向きでカメラに入れない。

カメラの故障の原因となることがあります。

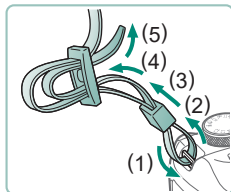
基本的な使いかた

準備から、撮影、再生までの説明や、各種の基本情報を掲載しています。

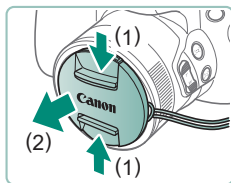


準備する

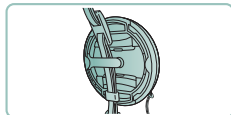
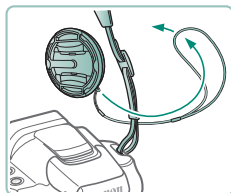
● ストラップを付ける



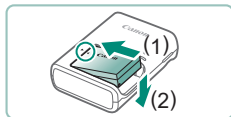
- 1 付属のストラップをストラップ取り付け部に取り付ける



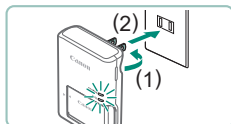
- 2 レンズキャップをストラップに取り付ける



● バッテリーを充電する

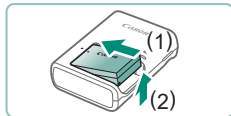


1 バッテリーをチャージャーにセットする



2 充電する

- ランプの色
 - 充電中：オレンジ
 - 充電完了：緑色



3 バッテリーを外す



- バッテリーを保護し、性能の劣化を防ぐため、24 時間以上連続して充電しないでください。
- バッテリーチャージャーは、AC100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。
- 充電したバッテリーは、使わなくても自然放電によって少しずつ残量が減ります。充電は使う前日が当日にしてください。

● カード（市販品）を準備する

次のカードが容量に制限なくお使いになれます。

- SD メモリーカード*¹
- SDHC メモリーカード*¹*²
- SDXC メモリーカード*¹*² 

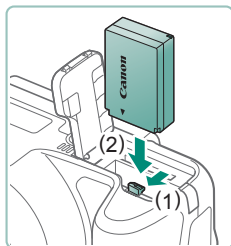
*¹ SD 規格に準拠したカードです。カードによっては、正しく動作しないことがあります。

*² UHS-I 対応のメモリーカードも使えます。

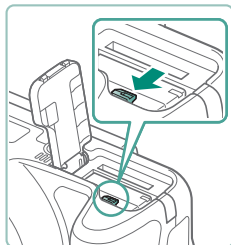
● バッテリーとカードを入れる／取り出す



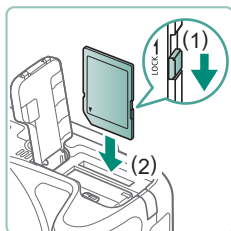
1 ふたを開ける



2 バッテリーを入れる



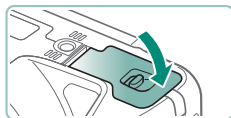
取り出すとき



3 カードを入れる



取り出すとき



4 ふたを閉める

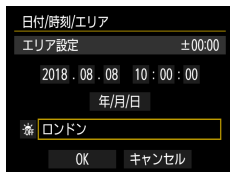


- 間違った向きでバッテリーを入れるとロックされません。必ずバッテリーがロックされる正しい向きで入れてください。
- 新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。
- スイッチがあるカードでは、スイッチが「LOCK」側になっていると撮影できません。スイッチを動かしてロックを解除してください。

● 日付／時刻／エリアと言語を設定する

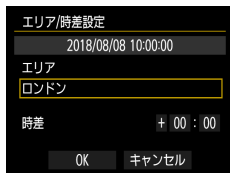


1 電源を入れる

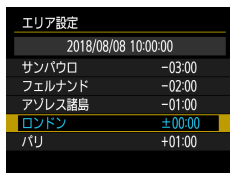


2 エリアを設定する

- ◀/▶ボタンでエリアを選ぶ→Ⓜボタン



- Ⓜボタン

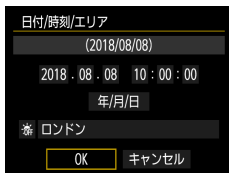


- ▲/▼ボタンでエリアを選ぶ→Ⓜボタン
→◀/▶ボタンで [OK] を選ぶ→Ⓜボタン



3 日付／時刻を設定する

- ◀/▶ボタンで日付や時刻を選ぶ→Ⓢボタン
→▲/▼ボタンで設定する→Ⓢボタン



- [OK] を選ぶ→Ⓢボタン



4 言語を設定する

- ▲/▼ボタンで [言語] を選ぶ→Ⓢボタン



- ▲/▼ボタンで言語を選ぶ→Ⓢボタン



- 電源を入れたときに [日付 / 時刻 / エリア] 画面が表示されたときは、現在の日時／エリアを正しく設定してください。ここで設定した情報は撮影する画像に記録され、撮影日による管理や、日付を入れて印刷するときなどに使用できます。
- 日付／時刻／エリアを設定する画面で、[⚙] を [⚙] にすると、サマータイム（1 時間プラスされます）に設定されます。
- 日付／時刻／エリアの設定が解除されているときは、もう一度正しく設定してください。

カメラを構える



- ストラップを首にかけます。
- 撮影するときは、脇をしめてカメラが動かないようにしっかりと構えます。

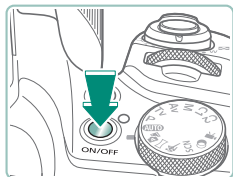


- ストロボを上げているときは、ストロボに指がかからないようにしてください。

使ってみる

ここでは、電源を入れてから静止画や動画を撮影し、その画像を見るまでの手順について説明しています。

撮る

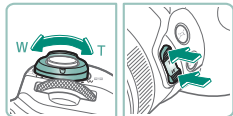


1 レンズキャップを外し電源を入れる

- もう一度、電源ボタンを押すと、電源が切れます。

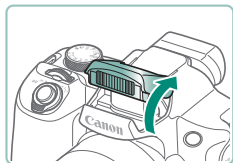


2 AUTOモードにする

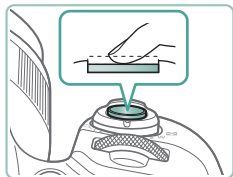


3 撮りたいものの大きさを決める

- 画面を見ながらズームレバーまたはズームボタンを操作します。



ストロボを使用するとき



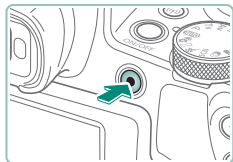
4 ピントを合わせる（半押し）



- ピントが合うと、電子音が「ピピッ」と鳴ります。
- ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。



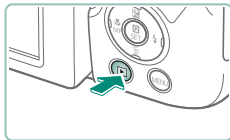
5 撮影する（全押し）



動画を撮るとき

- 撮影中は【● REC】が表示されます。
- もう一度、動画撮影ボタンを押すと、撮影が終わります。

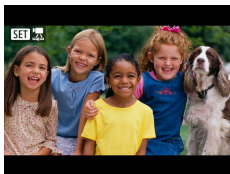
見る



1 ▶ボタンを押す



2 画像を選ぶ



- 動画は、**[SET 再生]** が表示されます。



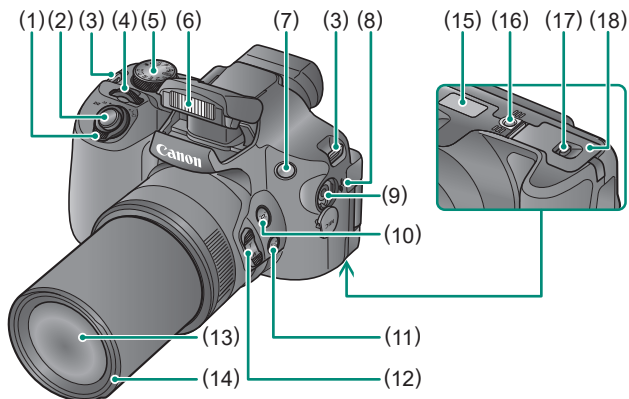
動画を再生するとき

- 再生ボタン→もう一度再生ボタン
- ▲／▼ボタンで音量を調整します。



各部のなまえ

前面

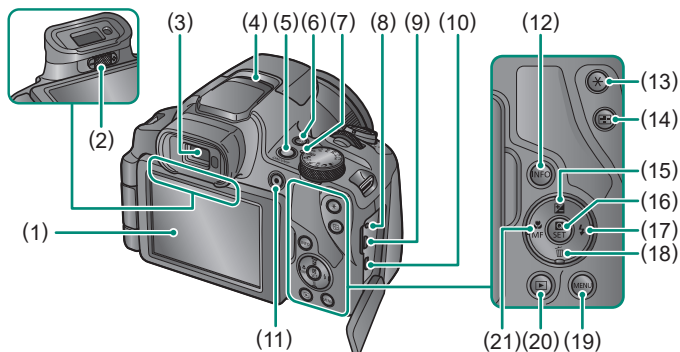


- (1) ズームレバー
撮影時： **T** (望遠) / **W** (広角)
再生時： **Q** (拡大) / **☒** (インデックス)

- (2) シャッターボタン
(3) ストラップ取り付け部
(4) 電子ダイヤル
(5) モードダイヤル
(6) ストロボ
(7) ランプ (前面)
(8) スピーカー
(9) 外部マイク入力端子

- (10) **☒** (フレーミングアシスト - 探索) ボタン
(11) **☒** (フレーミングアシスト - 固定) ボタン
(12) ズームボタン
(13) レンズ
(14) レンズフード/フィルターアダプター取り付け部
(15) シリアル番号
(16) 三脚ねじ穴
(17) カード/バッテリー収納部ふたロック
(18) カード/バッテリー収納部ふた

● 背面



- (1) モニター
左側に約 180°まで開き、上下にも回転します。
- (2) 視度調節つまみ
- (3) ファインダー
- (4) マイク
- (5) 電源ボタン
- (6) (Wi-Fi) ボタン
- (7) ランプ (上面)
- (8) リモコン端子
- (9) DIGITAL (デジタル) 端子
- (10) HDMI™ 端子
- (11) 動画撮影ボタン
動画モード以外でも動画撮影できます。

- (12) **INFO** (インフォ) ボタン
- (13) ✖ (AE ロック) ボタン
- (14) □ (AF フレーム選択) ボタン
- (15) ▢ (露出補正) / ▲上ボタン
- (16) Ⓢ (クイック設定) ボタン
クイック設定画面を表示します。選択の決定にも使用します。
- (17) ⚡ (ストロボ) / ▶右ボタン
- (18) 🗑 (1 画像消去) / ▼下ボタン
- (19) **MENU** (メニュー) ボタン
MENU を表示します。
- (20) ▶ (再生) ボタン
- (21) 🌹 (マクロ) / **MF** (マニュアルフォーカス) / ◀左ボタン

ファインダーの使いかた

ファインダーを使うと、被写体をしっかりとらえて撮影しやすくなります。

1 表示を切り換える

- ファインダーを使うときは、ファインダーに目を近づけて表示させてください。



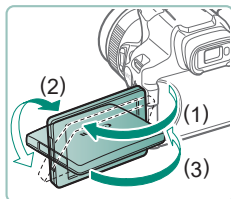
2 視度を調節する

- モニターを開いた状態で調整します。



- ファインダーとカメラの画面を同時に表示することはできません。
- アスペクト比の設定によっては、左右または上下に黒帯が表示されます。この部分は撮影されません。

モニターの向きや角度の変えかた



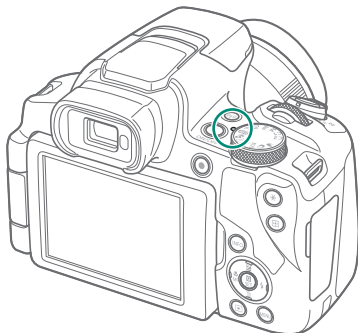
- (1) の方向に約 175° まで開くことができます。
- (2) の方向に約 180° まで回転できます。
- (3) モニターを表向きにして閉じます。



- カメラを使わないときは画面を保護するため、必ずモニターを内側に向けて収納した状態で保管してください。
- モニターは、故障の原因となるため無理に広げないでください。

ランプの表示

上面のランプは、カメラの状態に連動して点滅状態が変わります。



色	状態	操作状況
緑	点灯	● 静止画撮影時のカードへの記録／読み出し中
	ゆっくりと点滅	● 画面消灯時（ディスプレイオフ）
	点滅	● 動画撮影時のカードへの記録／読み出し中 ● Wi-Fi データ送受信中

撮影モードを選ぶ

撮影モードの切り換えは、モードダイヤルで行います。



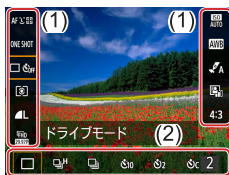
- (1) Tvモード **Tv**
シャッタースピードを設定して撮影できます (図69)。
- (2) Pモード **P**
いろいろな機能を設定して撮影できます (図68)。
- (3) オートモード **AUTO**
カメラまかせの全自動撮影ができます (図49)。
- (4) プラスムービーオートモード 
静止画を撮影すると、同時に撮影直前のシーンが動画として記録されます (図53)。
- (5) パノラマモード 
連続撮影した画像を合成してパノラマ画像を作成できます (図54)。
- (6) スポーツモード 
動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます (図56)。
- (7) Avモード **Av**
絞り数値を設定して撮影できます (図71)。
- (8) Mモード **M**
シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます (図72)。
- (9) C1 / C2 モード **C1 / C2**
よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます (図227)。
- (10) 動画モード 
いろいろな動画が撮影できます (図65)。
- (11) クリエイティブフィルターモード 
いろいろな効果をつけて撮影できます (図61)。
- (12) スペシャルシーンモード **SCN**
撮影シーンに合った設定で撮影できます (図57)。

カメラの機能を設定する

● クイック設定画面の使いかた



1 ① ボタンを押す



- (1) 設定項目
- (2) 設定内容



2 設定項目を選ぶ



3 設定内容を選ぶ



- [INFO] が表示される項目では、INFO ボタンを押して設定します。

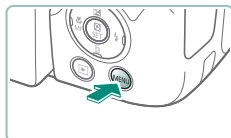


4 設定を終了する

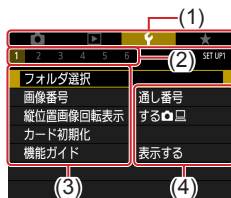


- 設定内容は、ダイヤルを回しても選ぶことができます。
- クイック設定画面で設定できる項目は、MENU でも設定できます。

MENU（メニュー）の使いかた



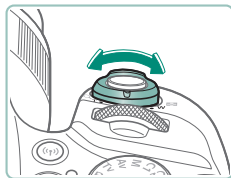
1 MENUボタンを押す

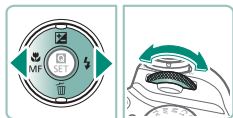


2 タブを選ぶ

- (1) メインタブ
- (2) サブタブ
- (3) 設定項目
- (4) 設定内容

- ズームレバーでメインタブを選びます。





- ◀/▶ボタンまたは🌀ダイヤルでサブタブを選びます。



3 設定項目を選ぶ

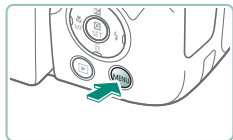
- 設定項目によっては、📷ボタンを押して画面を切り換えたあと、さらに▲/▼ボタンを押して項目を選びます。



4 設定内容を選ぶ

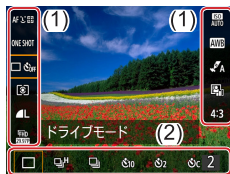


5 設定を終了する



6 撮影画面に戻る

クイック設定画面で設定できる機能



撮影や再生の画面で $\odot$ ボタンを押すとクイック設定画面が表示され、設定を変更できます。左右の設定項目を選ぶと、下部にその設定内容が表示されます。

(1) 設定項目

(2) 設定内容

Pモードで設定できる項目は、以下のとおりです。表示される設定項目や設定内容は、撮影モードによって異なります。

AF $\odot$	AF 方式	撮影シーンにあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を選べます。
ONESHOT	AF 動作	シャッターボタンを半押ししている間、ピントを合わせ続けるときは「SERVO」を選びます。
$\square$ $\odot$ OFF	ドライブモード*	連続撮影やセルフタイマーを設定します。
$\odot$	測光モード	明るさを測る方式を選べます。
$\mathbf{L}$	記録画質*	画像の記録画素数（大きさ）／画質（圧縮率）を選べます。
VIDEO 25/30P	動画記録サイズ*	動画の記録サイズ／フレームレートを選べます。
ISO AUTO	ISO 感度	ISO 感度を選べます。
AWB	ホワイトバランス	明かりの種類にあわせて自然な色あいで撮影します。
$\mathbf{A}$	スタイル設定	色あいやコントラストなどを選べます。
$\mathbf{A}$	オートライティング 最適化	明るさやコントラストを自動補正するレベルを選べます。
4:3	静止画アスペクト比*	静止画の縦横比を選べます。

*AUTOモードでも設定できます。

MENU（メニュー）の設定項目一覧

MENU 画面で、カメラの各種機能を設定できます。MENU 画面は、**MENU**ボタンを押すと表示されます。設定項目は 4 つの系統と複数のタブで分類されています。

MENU 画面で設定できる項目は、以下のとおりです。設定できる項目は、撮影モードによって異なります。

撮影設定

- 撮影モード
- 記録画質
- 静止画アスペクト比
- 撮影画像の確認時間
- ストロボ設定
- ドライブモード
- 日付写し込み 
- 露出補正 / AEB 設定
-  ISO 感度に関する設定
-  ISO 感度に関する設定
- オートライティングオプティマイザ
- 測光モード
- 測光タイマー
- 露出 Simulation
- ホワイトバランス
- MWB 画像選択
- WB 補正 / BKT 設定
- スタイル設定
- HDMI 出力時の情報表示
- AF 動作
- AF 方式
- コンティニユアス AF
- AF 補助光の投光
- MF ピーキング設定
- セイフティ MF
- MF 拡大表示
- 手ブレ補正設定
-  自動水平補正
- デジタルズーム
- ズーム位置 / MF 位置の記憶
- ダイジェスト形式
-  表示範囲
-  オートズーム
-  センタリング
- 動画記録サイズ
- 録音
- 動画サーボ AF
-  オートスローシャッター
- ビデオスナップ
- タイムラプス動画
- リモコン撮影

再生設定

- 画像プロテクト
- 画像回転
- 画像消去
- 印刷指定
- フォトブック指定
- 赤目補正
- トリミング
- リサイズ
- レーティング
- スライドショー
- 画像検索の条件設定
- での画像送り
- アルバム編集
- ヒストグラム
- 前回の画像から再生

機能設定

- フォルダ選択
- 画像番号
- 縦位置画像回転表示
- カード初期化
- 機能ガイド
- エコモード
- 節電
- 画面の明るさ
- 日付 / 時刻 / エリア
- 言語 
- ビデオ方式
- 電子音
- 音量
- HDMI 出力解像度
- **T/W** ボタンの機能
- とボタンの入換
- 撮影情報表示設定
- 撮影画面表示設定
- 表示先設定
- レンズ収納時間
- 鏡像表示
- 起動画面
- 単位
- 無線通信の設定
- GPS の設定
- カスタム機能 (C.Fn)
- カスタム撮影モード (C1, C2)
- カメラの初期化
- 著作権情報
- 使用説明書・ソフトウェア URL
- 認証マーク表示
- ファームウェア

★ マイメニュー

- マイメニュータブの追加
- マイメニュータブの全削除
- 全項目削除
- メニュー表示

撮影モードの画面



- (1) 撮影モード／シーンアイコン
- (2) 撮影可能枚数
- (3) 連続撮影可能枚数
- (4) 動画撮影可能時間
- (5) バッテリー残量

撮影画面に表示される枠

撮影画面には、ピント合わせを行う枠（AF フレーム）が表示されます。

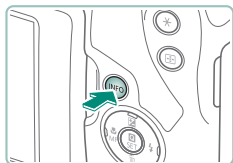
白の枠	主被写体と検出した顔やものに表示されます。
緑の枠	シャッターボタンを半押しして、ピントが合ったときに表示されます。
青の枠	動いている被写体にピントを合わせ続けているときに表示されます。 シャッターボタンを半押ししている間、表示されます。
黄色の枠	シャッターボタンを半押しして、ピントが合わないときに表示されます。



- 撮影シーンや被写体によっては、「枠が表示されない」、「撮りたい被写体に枠が表示されない」、「背景などに枠が表示される」ことがあるので、そのときは**P**モードで撮影することをおすすめします。

撮影時の画面表示の切り換えかた

撮影時の画面表示を切り換えることができます。

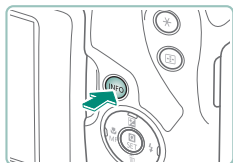


1 INFOボタンを押す

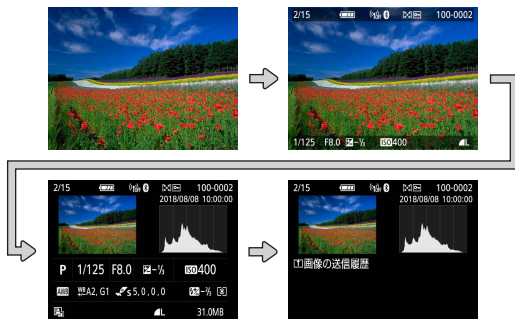


再生時の画面表示の切り換えかた

再生時の画面表示を切り換えることができます。



1 INFOボタンを押す



- 詳細な情報を表示する画面にすると、情報表示画像上の白トビした部分が点滅表示されます。
- 詳細な情報を表示する画面にしたときに画面上部に表示されるグラフは、画像中の明るさの分布を示した輝度ヒストグラムというグラフです。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、露出の傾向を確認できます。

● ヒストグラムを切り換える

ヒストグラムは、露出レベルの傾向と全体の階調を確認できる輝度表示と、色の飽和と階調を確認できる RGB 表示を切り換えることができます。



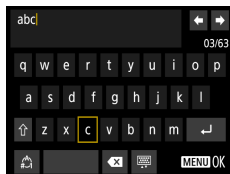
1 [ヒストグラム]



- RGB 表示に切り換えたとき、詳細な情報を表示する画面にすると、画像中の赤、緑、青の分布を示す RGB ヒストグラムが表示されます。横軸は各色の明るさ、縦軸は色の明るさごとの量を示しています。このヒストグラムで、色の傾向を確認できます。

文字の入力方法

文字を入力するときは、キーボード画面を使います。▲／▼／◀／▶ボタンでキーを選び、ボタンを押します。



入力位置を移動するとき

- [↶] / [↷]

文字の種類を変えるとき

- [↑]：大文字に切り換え
- [🔢]：数字や記号などに切り換え

文字を消すとき

- [✖]

キーボードの種類を変えるとき

- [📻]

改行するとき

- [↵]

元の画面に戻るとき

- MENUボタン

撮影

かんたん操作で手軽に撮ったり、いろいろな機能を使ってもう少しこだわった画像を撮ることができます。

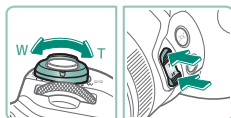


カメラまかせで撮る（オートモード／ プラスムービーオートモード）

オートモードでは、カメラが被写体や撮影状況を判別するため、シーンに最適な設定でカメラまかせの全自動撮影ができます。

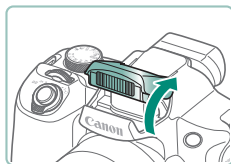


1 AUTOモードにする

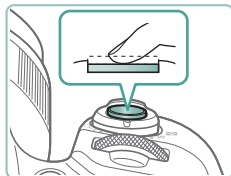


2 撮りたいものの大きさを決める

- 画面を見ながらズームレバーまたはズームボタンを操作します。



ストロボを使用するとき



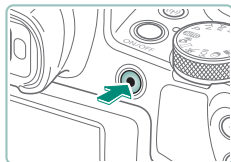
3 ピントを合わせる（半押し）



- ピントが合うと、電子音が「ピピッ」と鳴ります。
- ピントが合った位置に AF フレームが表示されます。



4 撮影する（全押し）



動画を撮るとき

- 撮影中は [● REC] が表示されます。
- もう一度、動画撮影ボタンを押すと、撮影が終わります。



静止画

- [Q] が点滅表示したときは手ブレしやすいため、カメラが動かないように三脚などでカメラを固定してください。
- ストロボが光ったのに暗い画像になるときは、被写体までの距離が遠すぎます。
- 暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピント合わせのためランプ（前面）が点灯することがあります。
- 撮影画面に戻る前でも次の撮影はできますが、ピント、明るさ、色あいは、直前の撮影に固定されることがあります。



動画

- 画面の上下に表示される黒い帯の部分は撮影されません。
- 撮影中に構図を変えると、ピント位置、明るさ、色あいが自動的に調整されます。
- カード容量がいっぱいになるか、1回の撮影時間が約29分59秒になると自動的に撮影が終わります。
- 長時間の動画撮影を繰り返し行くと、カメラの温度が高くなることがありますが故障ではありません。
- 動画撮影するときは、マイクをふさがないように注意してください。マイクをふさぐと音声は録音されなかったり、こもった音声で録音されることがあります。
- 内蔵マイクの音声はステレオで録音されます。
- 動画撮影中に動画撮影ボタン以外を操作すると、操作音が録音されるので、注意してください。
- 大きな手ブレを補正するため、撮影を始めると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。撮影前と同じ大きさを撮影したいときは、手ブレ補正の設定を変えてください。
- 動画撮影中、ピント位置が自動的に調整されるため、レンズの動作音も録音されることがあります。なお、音声を録音しないときは、 [録音] → [しない] を選んでください。
- 1回の撮影で容量が4GBを超える動画はファイルが分割されることがあります。分割された動画を自動で連続再生することはできません。動画ごとに再生してください。

シーンのアイコン

- **AUTO** / モードでは、カメラが判別したシーンを示すアイコンが表示され、ピント合わせや被写体の明るさ、色あいが最適になるよう自動設定されます。
- 撮影シーンによっては、実際のシーンと異なるシーンのアイコンが表示されたり、思いどおりの効果、色あい、明るさで撮影できないことがあるので、そのときは**P**モードで撮影することをおすすめします。

● 手ブレ補正アイコン

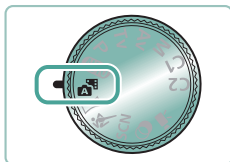
撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定（マルチシーン IS）され、以下のアイコンが表示されます。

	静止画を撮影するときの手ブレを補正（通常）
	静止画を流し撮りで撮るときのブレを補正（流し撮り）*
	マクロ撮影するときの角度ブレとシフトブレを補正（ハイブリッド IS）。動画では【】が表示され、さらに【】も加えた手ブレを補正
	動画を撮影するときの手ブレを補正し、歩きながら撮影するときなどの大きな手ブレも補正（ダイナミック）
	動画を望遠にして撮影するときなどの、ゆっくりとした手ブレを補正（パワード）
	三脚などでカメラを固定したときは、手ブレ補正を停止。ただし、動画撮影中は【】が表示され、風などによる振動の影響を低減するブレ補正を実施（三脚 IS）

* 動く被写体をカメラで追いながら撮影（流し撮り）するときに表示されます。左右方向に動く被写体を追うと、上下方向の手ブレだけが補正されて、左右方向の補正は停止します。また、上下方向に動く被写体を追うと、左右方向の手ブレだけが補正されます。

● プラスムービーオートで撮る

静止画を撮影するだけで、静止画と同時に撮影直前の約 2 ～ 4 秒のシーンも動画として記録されます。シャッター音と一緒に静止画が動画の最後に記録され、1 つのチャプターになります。1 日をまとめた短編動画(ダイジェスト動画) ができます。



1 モードにする

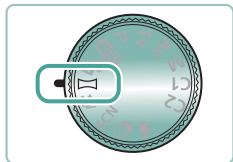
2 ピントを合わせて撮影する



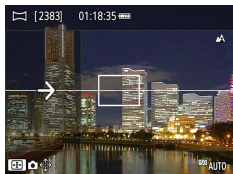
- 静止画を撮影する約 4 秒前からカメラを被写体に向けておくと、ダイジェスト動画もきれいに撮影できます。
- 静止画と一緒にダイジェスト動画が撮影されるため、**AUTO**モードよりバッテリーの消耗が早くなります。
- 電源を入れたり モードを選ぶなど、カメラを操作した直後に静止画を撮影したときは、ダイジェスト動画が記録されないことがあります。
- ダイジェスト動画には、カメラやレンズを操作したときの音と振動が記録されます。
- ダイジェスト動画の画質は、**[FHD 29.97P]** (NTSC 時) または **[FHD 25.00P]** (PAL 時) です。ビデオ方式の設定によって異なります。
- シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音は鳴りません。
- 次のときは、同じ日に モードで作成されたダイジェスト動画でも、別ファイルとして保存されます。
 - ダイジェスト動画の容量が約 4 GB になるか、記録時間が約 29 分 59 秒になったとき
 - ダイジェスト動画を保護したとき
 - サマータイムの設定、ビデオ方式、エリア設定、著作権の情報を変えたとき
- 記録されるシャッター音は、変えたり消すことはできません。

パノラマショットを撮る (パノラマモード)

シャッターボタンを全押ししたままカメラを一定の方向に動かして撮影すると、連続撮影した画像を合成してパノラマ画像が作成されます。



1 ㊦モードにする

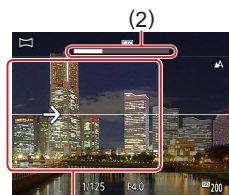


2 撮影する方向を選ぶ

- ㊦ボタンで撮影する方向を選びます。
- カメラを動かす方向を示す矢印が表示されます。

3 シャッターボタンを半押しする

- ピントを合わせ、シャッターボタンを半押ししたままにします。



4 撮影する

- シャッターボタンを全押ししたまま、矢印の方向にカメラを一定の速さでまっすぐに動かします。
- 画面で透明に表示されている部分 (1) が撮影されていきます。
- 撮影の進み具合を示すバー (2) が表示されます。
- シャッターボタンを放すか、バーがすべて白色になると撮影が終了します。

(1)



- シーンによっては、思いどおりの画像が保存されなかったり、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- カメラの動かし方が速すぎたり遅すぎたりすると、撮影が途中で中断されます。ただし、作成された画像は保存されます。
- モードで撮影した画像は画像サイズが大きいので、キヤノン製プリンターにカードを差し込んでプリントするときは、一度パソコンなどで画像をリサイズしてからプリントしてください。
また、ソフトウェアや Web サービスなどで画像が正しく扱えないときは、画像のリサイズをお試しください。
- 次の被写体やシーンでは、適切に合成されないことがあります。
 - 動いている被写体
 - 近くの被写体
 - 構図の中で明暗差が大きいとき
 - 空や海など単調な色や模様が続くシーン

動きのある被写体を撮る（スポーツモード）

動いている被写体にピント合わせを行いながら連続撮影できます。



1 スポーツモードにする



2 ピントを合わせる

- シャッターボタンを半押ししている間、青色で枠が表示され、ピントと明るさを合わせ続けます。

3 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- 連続撮影をしたあとは、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- 撮影シーンやカメラの設定、ズーム位置によっては、撮影の速度が遅くなることがあります。
- 記録モードのときは、連続撮影されません。

いろいろなシーンで撮る（スペシャルシーンモード）

撮影シーンにあったモードを選ぶと、最適な撮影ができるようにカメラが自動的に設定を行います。シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。

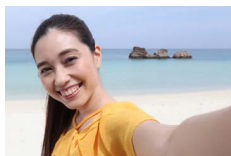


1 SCNモードにする



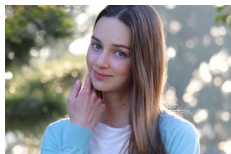
2 ④ボタン→ [SCN] →内容を選ぶ

3 撮影する



自分撮り

自分撮りをするときに、画像処理によって肌がなめらかに見えるよう美肌の効果をかけるほか、明るさや背景を自分好みに設定し、自分が浮き立つような画像にすることができます。



ポートレート

背景をぼかして人物を浮き立たせ、肌や髪の毛がやわらかな感じで撮影できます。



美肌

画像処理によって肌がなめらかに見えるような効果をかけることができます。



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- [📷] モードで設定した内容は、[📷] モードの設定には反映されません。

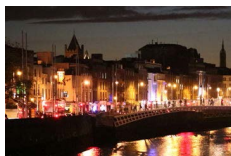


料理

料理を明るく、鮮やかな色あいに撮影できます。



- 人は適切な色あいにならないことがあります。
- ストロボ撮影時は、[色あい] の設定が標準設定に切り換わります。



手持ち夜景

夜景や夜景を背景にした人をきれいに撮影できます。



- 連続撮影した画像を 1 枚に合成することで、ノイズが軽減されます。
- 連続撮影するため、撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。
- 撮影後に合成処理を行うため、次の撮影までにしばらく時間がかかります。
- 撮影シーンによっては ISO 感度が高くなるため、画像が粗くなることがあります。
- ブレが大きすぎるときや撮影シーンによっては、思いどおりの効果が得られない画像が保存されることがあります。
- ストロボ撮影時はシャッター速度が遅くなることもあるため、カメラが動かないように固定することをおすすめします。



打ち上げ花火

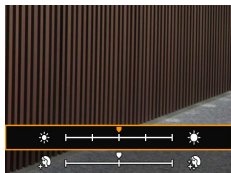
打ち上げ花火を色鮮やかに撮影できます。



- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします。
- 最適なピント位置に設定されますが、シャッターボタンを半押ししても枠は表示されません。

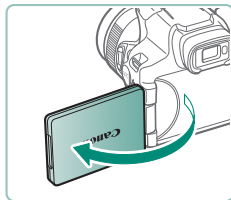
● 自分撮りに最適な設定で撮る（自分撮りモード）

1 [自分撮り] を選ぶ

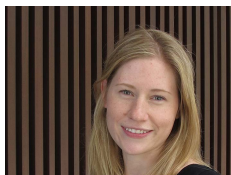


2 設定する

- INFOボタン→▲/▼ボタンで「明るさ」または「美肌効果」を選ぶ→◀/▶ボタンでレベルを選ぶ→[設定]ボタン
- ◀ボタンで「背景ぼかし」を設定します。



3 モニターを開く



4 撮影する

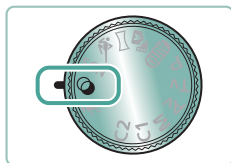
- 背景ぼかしが「オート」のとき、シャッターボタンを全押しすると、2枚連続して撮影されたあと、画像処理されるため、撮影中はカメラをしっかりと構え続けてください。



- 撮影シーンによっては、人の肌以外も補正することがあります。
- [自分撮り] モードで設定した「美肌効果」は、[撮影] モードには反映されません。
- ストロボモードを[ストロボ]にしてストロボを上げているときは、「背景ぼかし：切」に固定されます。

いろいろな効果をつけて撮る（クリエイティブフィルターモード）

いろいろな効果をつけて撮影することができます。シーンによっては思いどおりの効果が得られないことがありますので、事前に試し撮りすることをおすすめします。



1 ④モードにする



2 ④ボタン→ [④] →内容を選ぶ



3 効果を選ぶ

- ◀/▶ボタンでレベルを選びます。

4 撮影する



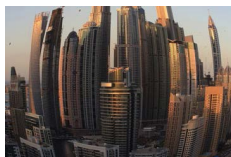
 ラフモノクロ

白黒でざらついた感じの画像を撮影できます。



 ソフトフォーカス

ソフトフィルターを使ったような効果をつけて、優しい雰囲気の画像を撮影できます。



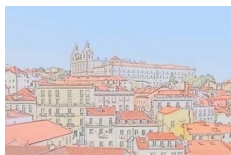
 魚眼風

魚眼レンズで撮ったようなデフォルメ効果をつけて撮影できます。



 油彩風

被写体の立体感を強調して油絵のように撮影できます。



水彩風

水彩画のようなやわらかい感じの色の画像を撮影できます。



トイカメラ風

画像の四隅を暗くぼかして、全体の色調を変えることで、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影できます。



ジオラマ風

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて撮影できます。

● ミニチュア模型のように撮る（ジオラマ風）



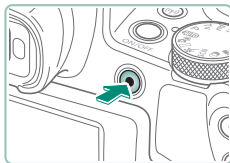
- 1 [] を選ぶ
- 2 ぼかさない範囲（ジオラマ枠）を設定する
 - INFOボタン→▲／▼ボタン→枠を移動する→ボタン
- 3 ピントを合わせる位置（AF フレーム）を設定する
 - ▲／▼／◀／▶ボタン→ AF フレームを移動する→ボタン
- 4 撮影する

いろいろな動画を撮る（動画モード）

📹モードでは、ジオラマ風動画（📖 130）、ビデオスナップ（📖 132）、タイムラプス動画（📖 134）など、いろいろな効果や機能を使用して、動画を撮影できます。



1 📹モードにする



2 撮影をはじめる

- 撮影中は【● REC】が表示されます。
- もう一度、動画撮影ボタンを押すと、撮影が終わります。



- 📹モードにすると、画面上下に黒い帯が表示されます。なお、黒い帯の部分は撮影されません。
- 📹モードにすると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなります。
- 動画撮影中にⓂ️ボタンを押したあと▲／▼ボタンを押すと、露出を調整することができます。
- 撮影前や撮影中に▶️ボタンを押すと、ピント位置を自動調整するか固定するかを切り換えられます（自動調整のときは【SERVO AF】の左上の○が緑色になります）。ただし、📷【動画サーボ AF】が【しない】のときは表示されません。

● シャッタースピードと絞り数値を決めて動画を撮る（動画マニュアル露出）

シャッタースピード、絞り数値、ISO 感度を個別に設定して撮影できます。



- 1 ボタン → → を選ぶ
- ボタンを押します。



- 2 ISO 感度を設定する



- 3 シャッタースピードと絞り数値を設定する
- シャッタースピードの設定： ダイヤル
- 絞り数値の設定：▲ボタン → ダイヤル

- 4 撮影をはじめる

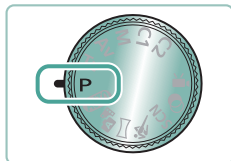


- 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影しているとき、設定したシャッタースピードによっては、画面のちらつきが記録されることがあります。
- ISO感度を固定しているときは、動画撮影前にシャッターボタンを半押しすると、設定した値に連動して露出レベル表示が移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベル表示が【◀】または【▶】になります。
- ISO感度が【AUTO】のときは、動画撮影前にシャッターボタンを半押しするとISO感度を確認できます。設定したシャッタースピードと絞り数値で標準露出を得られないときは、露出レベル表示が移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が3段を越えると、露出レベル表示が【◀】または【▶】になります。

プログラム AE で撮る (P モード)

被写体の明るさに応じて、カメラがシャッタースピードと絞り数値を自動的に設定します。

Pモードでは AF 動作や測光モードなど、いろいろな機能を自由に設定して撮影できます。



1 Pモードにする

2 各機能を設定する

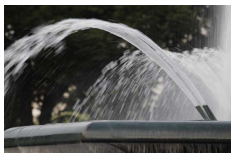
3 撮影する



- **P**は Program AE (プログラムエーイー) の略、AE は Auto Exposure (オートエクスポージャー) の略で自動露出のことです。
- シャッターボタンを半押ししたときに標準露出が得られないと、シャッタースピードと絞り数値が白色で点滅して表示されます。ISO 感度を変えたり、被写体が暗いときにストロボを発光させると、標準露出が得られることがあります。
- **P**モードでも、動画撮影ボタンを押すと動画が撮影できます。ただし、クイック設定画面や MENU 画面に表示される項目の一部が、動画撮影の設定にあわせて自動的に変わることがあります。
- シャッターボタンを半押ししたあと、ダイヤルを回すと、シャッタースピードと絞り数値の組みあわせを変えることができます (プログラムシフト)。

シャッタースピードを決めて撮る (Tvモード)

シャッタースピードを設定して撮影できます。設定したシャッタースピードに応じて、カメラが自動的に絞り数値を設定します。



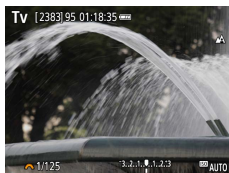
遅い



速い



1 Tvモードにする



2 シャッタースピードを設定する

- ダイヤル

3 撮影する

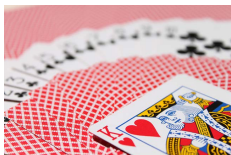


- **Tv**は Time value（タイムバリュー）の略で時間量のことです。
- シャッタースピードを遅くしたときに三脚などでカメラを固定するときは、手ブレ補正の機能を使わず撮影することをおすすめします。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [100] に固定されます。
- シャッターボタンを半押ししたときに絞り数値が点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。絞り数値が白字で表示されるまで、シャッタースピードを変えます。



絞り数値を決めて撮る（Av モード）

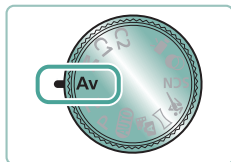
絞り数値を設定して撮影できます。設定した絞り数値に応じて、カメラが自動的にシャッタースピードを設定します。



絞り数値：小



絞り数値：大



1 Avモードにする



2 絞り数値を設定する

- ダイヤル

3 撮影する



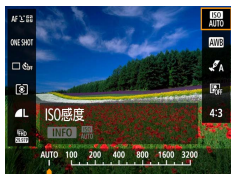
- **Av**は Aperture value（アパーチャーバリュー）の略でレンズの中に入っている「絞り」の開口量のことです。
- シャッターボタンを半押ししたときにシャッタースピードが点滅して表示されるときは、標準露出から外れています。シャッタースピードが白字で表示されるまで、絞り数値を変えます。

シャッタースピードと絞り数値を決めて撮る（Mモード）

シャッタースピードと絞り数値を個別に設定して、目的の露出で撮影できます。



1 Mモードにする



2 ボタン→ ISO 感度を設定する



3 シャッタースピードと絞り数値を設定する

- シャッタースピードの設定：ダイヤル
- 絞り数値の設定：▲ボタン→ダイヤル

4 撮影する

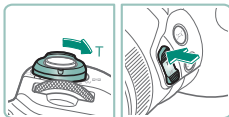


- **M**は Manual（マニュアル）の略です。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッターボタンを半押しすると、設定した値に連動して露出レベル表示が移動し、標準露出からの差が確認できます。標準露出からの差が 3 段を越えると、露出レベル表示が [◀] または [▶] になります。
- シャッタースピードと絞り数値を設定したあとにズーム操作をしたり構図を変えると、露出レベル表示が移動することがあります。
- ISO 感度を固定しているときは、シャッタースピードと絞り数値の設定により、画面の明るさが変わります。ただし、ストロボを上げてストロボモードを [⚡] にすると画面の明るさは変わりません。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、設定したシャッタースピードと絞り数値に対して標準露出になるように ISO 感度が変わるため、思い通りの露出で撮影できないことがあります。
- オートライティングオブティマイザによって、画像の明るさが変わることがあります。オートライティングオブティマイザの設定画面で [マニュアル露出時は OFF] に [✓] をつけると、**M**モードではオートライティングオブティマイザが [しない] 固定になります。
- 標準露出は設定している測光の方式で算出されます。
- ISO 感度を [AUTO] にしているときは、▲ボタンで露出レベル表示を選んで、露出を補正できます。
- シャッタースピードが 1.3 秒またはそれより遅いときは、ISO 感度が [100] に固定されます。

被写体をもっと拡大する（デジタルズーム）

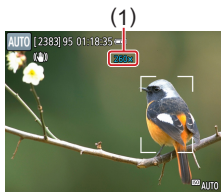
光学ズームで被写体が大きく撮れないときは、デジタルズームを使って最大約 260 倍まで拡大できます。

AUTO



1 ズームレバーやズームボタンをT側に押す

- レバーやボタンを押したままにします。
- 画像の粗さが目立たない最大の倍率になるとズームが止まり、ズーム倍率が表示されます。



2 もう一度T側に押す

- さらにズームして、被写体が拡大されます。
- (1) は現在の倍率です。



- ズームレバーやズームボタンを操作するとズーム位置を示すズームバーが表示されます。バーの色はズーム領域によって変わります。
 - 白の領域：画像が粗くならない光学ズーム領域
 - 黄色の領域：画像の粗さが目立たないデジタルズーム領域（プログレッシブファインズーム）
 - 青色の領域：画像が粗くなるデジタルズーム領域
- 設定した記録画素数によっては青色の領域がないため、ズームが止まらずに最大倍率までズームできます。
- デジタルズームを使わないようにするには、 [デジタルズーム] → [切] を選びます。



明るさ（露出）を固定する（AE ロック）

静止画や動画を撮影する際、露出を固定したり、ピントと露出を個別に設定できます。



AE ロックなし



AE ロック

P

1 露出を固定したい被写体にカメラを向ける

2 ※ボタンを押す



- [※] が表示され、露出が固定されます。
- 測光タイマー（ 107）が切れると自動で解除されます。

3 構図を決めて撮影する

- [※] が消えると、AE ロックが解除されます。



- AE は、Auto Exposure（オートエクスポージャー）の略で自動露出のことです。



75



見失った被写体を見つけやすくする (フレーミングアシスト - 探索)

ズーム中に被写体を見失ったとき、いったんズーム倍率を下げて被写体を見つけやすくできます。

AUTO



1 ズームボタンを押したままにする

- ズーム倍率が下がり、ズームボタンを押す前の表示範囲の目安が白い枠で表示されます。



2 白い枠の中に被写体が入るようにする



3 ズームボタンから指を放す

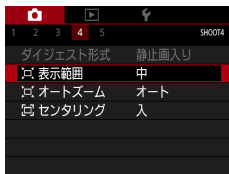
- 手順 2 の白い枠内が画面いっぱいになるよう自動的にズームします。



- ズーム倍率を下げている間は、一部の撮影情報は非表示になります。
- 動画撮影中に、 ボタンを操作しても白い枠（ ボタンを押す前の表示範囲の目安）は表示されません。また、ズーム倍率の変化や動作音も記録されません。
- 表示範囲の目安が白い枠で表示されているときにシャッターボタンを押すと、そのときのズーム倍率で撮影されます。
- ボタンを押したままズームレバーを動かすと、白い枠の大きさが変わり、 ボタンを放したあとのズーム倍率を変えることができます。
- セルフタイマーでシャッターボタンを全押ししたあとは、 ボタンを押してもズーム倍率は変わりません。

● 表示範囲を変える

ボタンを押しているときの表示範囲を変えることができます。

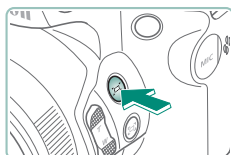


1 表示範囲

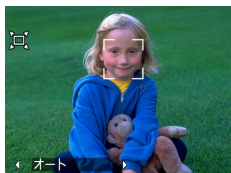
被写体の動きに応じて自動でズームさせる（オートズーム）

カメラが人の顔を検出（ 114）すると、顔が一定の大きさに保たれるよう自動でズームします。人がカメラに近づくと自動でズーム倍率が下がり、人がカメラから離れると自動でズーム倍率が上がります。また、顔の大きさは変えることができます。

AUTO



- 1 ボタンを押して、すぐに指を放す
 - が表示されます。



- 顔が検出されると白い枠が表示され、被写体となる人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
- 複数の顔が検出されているときは、主被写体の顔には白い枠、その他の顔には灰色の枠が最大2つまで表示されます。

2 撮影する

- もう一度 ボタンを押すと オート：切 が表示され、解除されます。



- 【ロオート：入】にしている間は、一部の撮影情報は非表示になり、一部の撮影機能の設定はできなくなります。
- 顔が横や斜めを向いているときやズーム倍率によっては、画面に対する顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 被写体の動きや撮影状況によっては、被写体が画面におさまることを優先するため、顔の大きさを一定に保てないことがあります。
- 検出された人が画面の端に動いて画面から消えそうになると、自動でズーム倍率が下がってフレームアウトすることを防ぎます。
- 顔が検出できないときは、所定のズーム位置までズームしたあと、顔が検出されるまでズームを停止します。
- 動画撮影中は、ズーム倍率の変化や動作音も記録されます。
- 動画撮影中は、複数の顔を検出しても複数の人を画面の中におさめるようなオートズームはしません。
- 連続撮影中は、オートズームしません。
- セルフタイマーでシャッターボタンを全押ししたあとは、ズーム倍率は変わりません。

● 画面に対して保たれる顔の大きさを変える



- [⌂/オート：入] の状態で、◀/▶ボタンを押して、目的の項目を選びます。
- 設定した顔の大きさになるよう自動でズームします。

オート	被写体となる人の動きに応じて、画面の中におさまるよう、自動でズームします。 複数の顔が検出されているときは、複数の人が画面の中におさまるよう、自動でズームします。
顔	表情がわかるような顔の大きさに保ちます。
上半身	上半身が入るような顔の大きさに保ちます。
全身	全身が入るような顔の大きさに保ちます。
マニュアル	設定した顔の大きさに保ちます。ズームレバーを操作して画面に対する顔の大きさを決め、ズームレバーを放すと設定されます。

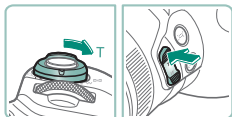


- [顔] [上半身] [全身] に設定しているときは、ズームレバーやズームボタンを操作してズーム倍率を変えることはできませんが、ズームレバーやズームボタンから指を放すと数秒で元の倍率に戻ります。
- 顔の大きさを選んだ状態で動画撮影中に⌂/オートボタンを押すと、設定を解除することができます。

ズーム倍率を上げたときに被写体を見失いにくくする（フレーミングアシスト - 固定）

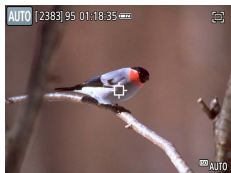
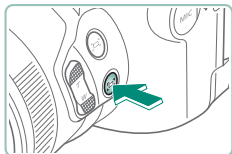
望遠側にズームして倍率を上げたときの手ブレを軽減すると同時に、選んだ被写体が画面の中央付近に表示されるよう補正することで、被写体を見失いにくくすることができます。

AUTO



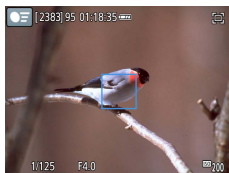
1 望遠側にズームしたあと、[AF-ON]ボタンを押す

- [AF-ON] が表示され、望遠側に適した手ブレ補正になります。



2 中央付近に表示させたい被写体を選ぶ

- 画面中央に [C] が表示されます。
- 被写体に [C] が重なるようにカメラを動かして [C] ボタンを押すか、シャッターボタンを半押しします。



- 被写体が画面の中央付近に表示されるよう被写体を追い続けます。

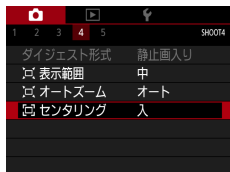
3 撮影する



- 画面中央に「」が表示されているときに「」ボタンを押して被写体が検出されると、「」が表示されます。
- 構図を変えたときに手ブレ補正の効果が弱まったり、被写体が画面の中央付近に表示されず、「」が灰色で表示されることがあります。このときは、もう一度望遠側にズームして「」ボタンを押し、中央付近に表示させたい被写体を選ぶ操作を繰り返してください。
- 動画の撮影を始めると、手ブレ補正の効果が変わることによって撮影前の構図と変わることがあります。
- 撮影シーンや被写体によっては、思いどおりの効果が得られないことがあります。
- 「」ボタンを押すと、手ブレ補正のアイコンは表示されません。
- 「」が表示されているときにズームレバーを動かすと、ゆっくり大きさが変わって撮りたいものの大きさを微調整できます。
- [ドライブモード] が、[高速連続撮影] または [低速連続撮影] のときや、Wi-Fi 接続中は、「」ボタンは無効です。

● 被写体を中央に表示しない

検出した被写体を画面の中央付近に表示させないように設定できます。このときも、望遠側に適した手ブレ補正は有効です。



1 「 センタリング」 → [切]



近くの被写体を撮る（マクロ撮影）

【🌻】に設定すると、近いものだけにピントを合わせます。

P



1 ◀ボタンを押して【🌻】を選ぶ

2 撮影する



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- ズームバーの下にある黄色のバー表示の範囲は、【🌻】が灰色表示になりピントが合いません。
- 手ブレを防ぐため、三脚などでカメラを固定し、📷 [ドライブモード] → [🔄2] にして撮影することをおすすめします。

マニュアルフォーカスで撮る

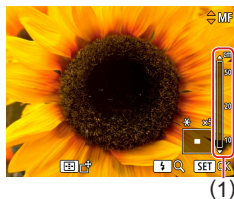
オートフォーカスでピントが合わないときは、マニュアルフォーカスを使います。画面を拡大表示にすると、ピントを合わせやすくなります。

P



1 マニュアルフォーカスにする

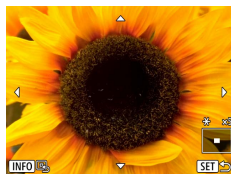
- ◀ボタンで [MF] を選びます。
- [MF] と MF インジケーターが表示されます。



(1)

2 ピントを合わせる

- MF インジケーター (1) の距離表示とピント位置を示すバーを目安にして、▲／▼ボタンを長押しし、およそのピント位置を決めます。
- 拡大表示を見ながら▲／▼ボタンを短押しし、さらにピント位置を調整します。▶ボタンを押すと、拡大倍率を変えられます。
- [INFO]ボタンを押したあと、▲／▼／◀／▶ボタンで拡大表示範囲を移動できます。INFOボタンで中央に戻ります。



3 撮影する



- 正確なピント合わせを行うには、三脚などでカメラを固定することをおすすめします。
- ピント位置は、ダイヤルでも調整できます。
- マニュアルフォーカスを開始したときに、画面が拡大された状態から表示することができます（MF 拡大表示）。
- シャッターボタンを半押しすると、もっともピントが合う位置に微調整されます（セーフティ MF）。

● ピント合わせをしやすい表示にする（MF ピーキング）

ピントが合った被写体の輪郭を色つきの強調表示にすることで、マニュアルフォーカス時のピント合わせをやすくすることができます。また、輪郭の検出感度（レベル）や色を変えることもできます。



1 【MF ピーキング設定】 → 【ピーキング】 → 【入】



2 設定する

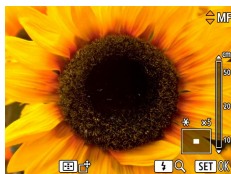


- MF ピーキングで表示した色は画像に記録されません。

AF ロックで撮る

ピントを固定できます。固定後はシャッターボタンから指を放しても、ピント位置は固定されたままになります。

P



1 ピントを合わせて固定する

- シャッターボタンを半押ししたまま、◀ ボタンを押します。
- ピントが固定され、[MF] と MF インジケーターが表示されます。

2 構図を決めて撮影する

- もう一度◀ボタンを押したあと、[▲] または [🌻] を選ぶと解除されます。

記録画質を変える

画像の記録画素数（大きさ）と画質（圧縮率）を、5 種類の組み合わせから選べます。また、RAW 画像を記録するかどうかも設定できます。

AUTO



1 ボタン → → 内容を選ぶ



- は、圧縮率による画質の違いを表しています。同じ記録画素数のときは、 の方が高画質です。 では画質が少し落ちますが、記録枚数を多くできます。

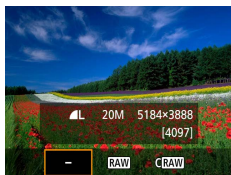
RAW 画像を記録する

このカメラでは、JPEG 画像と RAW 画像を記録できます。
RAW 画像とは、JPEG 画像を作り出す前の「生データ」のことです。

P



1 → INFO ボタンを押す



2 RAW の記録方法を選ぶ



- RAW 画像は、**P/Tv/Av/M/C1/C2**モードで記録できます。
- **[RAW]** は画質を優先した RAW 画像です。**[CRAW]** はコンパクトな RAW 画像です。
- RAW 画像はそのままの状態ではパソコンで見たり印刷したりできません。キヤノン製のソフトウェア Digital Photo Professional を使って一般的な JPEG 画像や TIFF 画像に変換（現像）する必要があります。
- JPEG 画像の拡張子は「.JPG」、RAW 画像の拡張子は「.CR3」です。同時に記録した JPEG 画像と RAW 画像は、同じ画像番号のファイルになります。
- **【記録画質】** で設定することもできます。JPEG 画像と RAW 画像を同時に記録するときは、**[RAW]** で **[RAW]** または **[CRAW]** を選びます。
- **【記録画質】** 画面で、**[RAW]** で **[-]** を選ぶと JPEG 画像だけを、**[JPEG]** で **[-]** を選ぶと RAW 画像だけを記録する設定になります。



縦横比（アスペクト比）を変える

画像の縦横の比率を変えられます。



4:3



3:2

AUTO



1  ボタン → [4:3] → 内容を選ぶ



89





撮影直後の画像表示時間を変える

撮影直後に表示される画像の表示時間を設定することができます。

AUTO



1 [撮影画像の確認時間]

切	画像は表示されません。
2 秒、4 秒、 8 秒	設定した時間だけ画像を表示します。画像が表示されている状態でも、シャッターボタンを半押しすると、次の撮影ができます。
ホールド	シャッターボタンを半押しするまで画像を表示します。



90



ストロボモードを変える

撮影シーンにあわせて、ストロボモードを変えられます。

P



- 1 ▶ボタンを押してストロボモードを選ぶ

ストロボ自動発光	暗いところでは自動的にストロボが光ります。
ストロボ発光	ストロボを常に発光させて撮影できます。
スローシンクロ	人などの主被写体は、ストロボが発光することで明るく撮影され、ストロボの光が届かない背景は、シャッタースピードを遅くすることで暗くなるのを軽減することができます。
ストロボ発光禁止	ストロボを光らせないで撮影することができます。



- ストロボが発光すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。
- [⚡] では、手ブレを防ぐため、三脚などでカメラが動かないように固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にして撮影することをおすすめします。
- [⚡] では、ストロボが光っても、シャッター音が鳴り終わるまでは主被写体が動かないようにしてください。

ストロボ撮影時に明るさ（露出）を固定する（FE ロック）

ストロボの発光量を記憶できます。



FE ロック



FE ロック未使用（露出オーバー）

P



- 1 ストロボを上げて、**[]** または **[]** にする
- 2 露出を固定したい被写体にカメラを向ける
- 3 ***ボタン**を押す

- ストロボが発光し、調光範囲を示す円と **[]** が表示され、ストロボ発光量が記憶されます。



4 構図を決めて撮影する

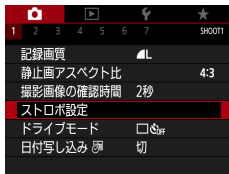


- FE は、Flash Exposure（フラッシュエクスポージャー）の略でストロボ露出のことです。
- **✳**ボタンを押してストロボが発光しても標準露出にならないときは、[⚡]が点滅します。ストロボ撮影に適した距離で**✳**ボタンを押して FE ロックを行ってください。

ストロボに関する機能を設定する

ストロボに関するいろいろな機能を設定できます。

P



1 [ストロボ設定]



- [ストロボ設定] 画面は、▶ボタンを押してからすぐにMENUボタンを押しても表示できます。

ストロボの調光量を補正する

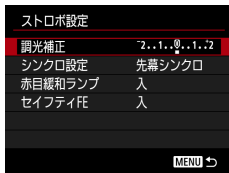
ストロボ撮影時の露出を 1/3 段ずつ、－2 段から＋2 段の範囲で補正できます。



マイナス側に補正



プラス側に補正



1 [調光補正]



2 補正量を設定する

- ◀▶ボタン

● ストロボ発光量を設定する

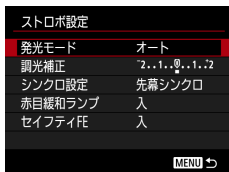
Tv/Av/Mモードでは、ストロボの発光量を3段階から選べます。



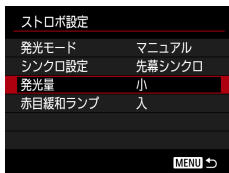
発光量：小



発光量：大



1 [発光モード] → [マニュアル]



2 [発光量]

● ストロボ発光のタイミングを変える

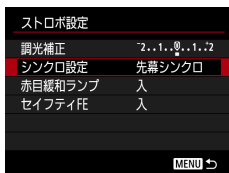
ストロボ発光とシャッターのタイミングを変えることができます。



先幕シンクロ



後幕シンクロ



1 [シンクロ設定]

先幕シンクロ	撮影開始直後にストロボが発光します。
後幕シンクロ	シャッターが閉じる直前にストロボが発光します。



- シャッタースピードが 1/100 またはそれより速いときは、[後幕シンクロ] を選んでいても、ストロボは [先幕シンクロ] の設定で発光します。

連続して撮る

シャッターボタンを全押ししたままにすると、連続撮影ができます。

AUTO



1 ボタン → [Off] → [] または []

2 撮影する

- シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影されます。



- **AUTO**モードでは、連続撮影中はシャッターボタンを半押ししたときのピント位置で固定されます。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては、一定の間隔で撮影されなかったり、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影枚数が多くなると、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 撮影条件、カードの種類、連続撮影した枚数によっては、次の撮影までにしばらく時間がかかることがあります。
- ストロボが発光するときは、連続撮影の速度が遅くなることがあります。
- 連続撮影中の画面表示は撮影された画像と異なり、ピントが合っていないように見えることがあります。
- 撮影シーン、カメラの設定によっては連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

セルフタイマーを使う

シャッターボタンを全押ししてから約 10 秒後に撮影されます。集合写真などで撮影する人も一緒に写るときなどに使います。また、2 秒に設定すると、シャッターボタンを押すときのカメラのブレを防ぐことができます。

AUTO



1 ボタン → [□ 0ff] → [10] または [2]

2 撮影する

- 被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを全押しします。
- タイマーがはじまるとランプ（前面）が点滅して、電子音が鳴ります。



- セルフタイマーを設定しても、動画撮影ボタンを押して動画を撮影したときは、セルフタイマーは動作しません。
- ストロボが光るときや撮影枚数が多いときは撮影間隔が長くなります。また、カード容量がいっぱいになると自動的に撮影が終わります。

日付を写し込む

画像の右下に撮影したときの日付を写し込むことができます。
 なお、写し込まれた日付を消したり、修正することはできませんので、あらかじめ日付／時刻が正しく設定されていることを確認してください(📖24)。

AUTO



- 1 📷 [日付写し込み🗨️] → [日付のみ]
または [日付+時刻]



2 撮影する

- 撮影した画像の右下に、撮影日または撮影日時が写し込まれます。



- 日付を写し込まなかった画像でも、次の方法で画像に撮影日を入れて印刷することができます。
 ただし、日付を写し込んだ画像を同じ方法で印刷すると、日付が二重に印刷されることがあります。
 - プリンターの機能を使って印刷する
 - 印刷指定 (DPOF) 機能を使って印刷する

明るさを変える（露出補正）

静止画や動画を撮影するとき、カメラが決めた標準的な露出を 1/3 段ずつ、
- 3 段から + 3 段の範囲で補正できます。



マイナス側に補正



プラス側に補正

P



1 露出を補正する

- ▲ボタン→ダイヤル

2 構図を決めて撮影する

● 露出を自動的に変えて撮る（AEB 撮影）

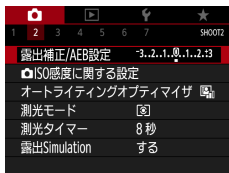
自動的に露出を変えながら、3 枚撮影します。補正量は露出補正值を中心に 1/3 段ずつ、－2 段から＋2 段の範囲で設定できます。



マイナス補正



プラス補正



1 [露出補正 / AEB 設定]



2 設定する

- 露出補正：◀/▶ボタン
- AEB 設定：⚙️ダイヤル

3 撮影する

- 手順 2 で設定した露出を基準として、シャッターボタンを押すたびに、標準露出→マイナス補正→プラス補正の順に撮影されます。
- [ドライブモード] が、[高速連続撮影] または [低速連続撮影] のときは、シャッターボタンを全押ししたままにすると、3 枚連続撮影して自動的に停止します。

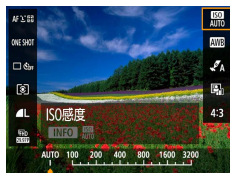


- AEB 設定を解除するときは、設定した手順で AEB の補正量を 0 にします。
- **P/Tv/Av/M/C1/C2** モードでストロボを使用していないときのみ AEB 撮影できます。
- 露出補正をしているときは、設定している値を標準露出とした AEB 撮影ができます。

ISO 感度を変える

ISO 感度が [AUTO] のときは撮影モードと撮影シーンに応じて自動設定されます。また、設定する ISO 感度の数値が大きいほど感度が高くなり、小さいほど感度が低くなります。

P



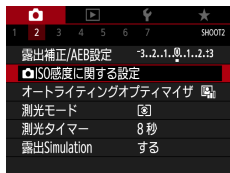
1 ボタン → [ISO] → 内容を選ぶ



- ISO 感度を低くすると粗さが目立たない画像になりますが、撮影シーンによっては被写体ブレや手ブレがおきやすくなることがあります。
- ISO 感度を高くするとシャッタースピードが速くなるため、被写体ブレや手ブレが軽減されたり、ストロボ撮影時に遠くの被写体が撮影できるようになります。ただし、画像は粗くなります。

ISO オートの設定を変える

オートにしたときに自動設定される ISO 感度の上限を選ぶことができます。



1 [ISO 感度に関する設定] → [オートの上限]

明るさ・コントラストを自動補正する (オートライティングオプティマイザ)

撮影結果が暗いときや、コントラストが低いときまたは高いときに、明るさやコントラストを自動的に補正できます。



弱め



強め

P



1 ボタン → → 内容を選ぶ



- 撮影条件によっては、ノイズが増えることがあります。
- オートライティングオプティマイザの効果が強すぎて、画像が明るすぎる場合は、 または に設定して撮影してください。
- 以外の設定では、露出補正やストロボ調光補正で暗めに設定しても、明るく撮影されたり、露出補正の効果が小さくなることがあります。設定したとおりの明るさで撮影したいときは、 に設定してください。
- に設定しているときは、連続撮影できる枚数が少なくなることがあります。

測光方式を変える

撮影シーンにあわせて、測光方式（明るさを測る特性）を変えられます。

P



1 ボタン → → 内容を選ぶ

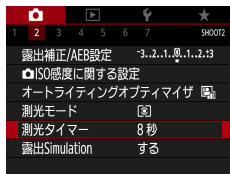
評価測光	逆光撮影を含む一般的な撮影に適しています。撮影シーンに応じて、カメラが露出を自動補正します。
スポット測光	画面中央に表示される （スポット測光枠）の範囲のみを測光します。
中央部重点 平均測光	画面中央部に重点をおいて、画面全体を平均的に測光します。



測光タイマーを設定する

露出値の表示時間（AE ロック時の保持時間）を変えることができます。

P



1 [測光タイマー]



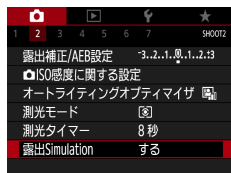
107



露出 Simulation 機能を設定する

露出 Simulation（シミュレーション）は、実際の撮影結果（露出）に近い明るさをシミュレートして映像を表示する機能です。露出補正を行うと、補正量に応じて映像の明るさが変わります。映像が見やすいように、標準的な明るさで表示したいときは、この機能は使いません。

P



1 [露出 Simulation]

自然な色あいにする（ホワイトバランス）

ホワイトバランス（WB）は、撮影シーンにあわせて自然な色あいにする機能です。



太陽光



くもり



白熱電球

P



1 ⑨ボタン→ [WB] →内容を選ぶ

ホワイトバランスを補正するとき

- INFOボタン→▲／▼／◀／▶ボタン

ホワイトバランスブラケティングを設定するとき

- INFOボタン→ダイヤル
- 1回の撮影で色あいの異なる3枚の画像が記録されます。



- 補正量を設定したあとにホワイトバランスの項目を変えても、補正量はそのまま保持されます。
- 補正量の詳細設定をする画面のBはブルー、Aはアンバー、Mはマゼンタ、Gはグリーンの意味です。
- ブルー／アンバー方向の1段は、色温度変換フィルターの約5ミレッドに相当します（ミレッド：色温度変換フィルターの濃度を表すときなどに使用される色温度の単位）。

● マニュアルホワイトバランス

撮影場所の光源にあわせてホワイトバランスを変えて、撮影時の光源に適した色あいで撮影できます。撮影場所の光源のもとで設定してください。



1 白い被写体を撮影する

- 画面全部を白い無地の被写体にして、ピントを合わせて撮影します。
- ボタンを押します。



2 →



3 [MWB 画面選択]



4 白データを取り込む

- 手順 1 で撮影した画像を選ぶ → ボタン → [OK]
- MENUボタンで撮影画面に戻ります。



- 撮影した白い被写体の画像が明るすぎたり暗すぎたりすると、ホワイトバランスが設定できないことがあります。
- 画像を選びなおすときは「キャンセル」を選んでください。「OK」を選ぶとその画像で白データが取り込まれますが、適切なホワイトバランスにならないことがあります。
- 白い被写体の代わりに、市販のグレーチャートや 18%標準反射板を撮影すると、より正確なホワイトバランスを設定できます。
- 白い被写体を撮影するときのホワイトバランスはどの設定でもかまいません。

好みの色あいを選ぶ（スタイル設定）

撮影シーンや被写体にあわせて、好みの色あいを選べます。

P



1 ボタン → [A] → 内容を選ぶ

コントラストや色の濃さなどを調整するとき

- [s] → INFO ボタン → 項目を選ぶ → ボタン

サーボ AF で撮る

シャッターボタンを半押ししている間は青色で AF フレームが表示され、被写体にピントと露出を合わせ続けます。動いている被写体のシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。

P



1 ボタン → [ONE SHOT] → [SERVO]

2 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる

3 全押しして撮影する



- ピント合わせ中は、シャッターボタンを全押ししても撮影できないことがあります。被写体を追いながらシャッターボタンの全押しを続けてください。
- サーボ AF に設定すると、シャッターボタンを半押ししても露出は固定されず、撮影する瞬間に露出が決まります。
- サーボ AF に設定すると、ピントを合わせ続けながら連続撮影ができます。このとき、連続撮影速度が遅くなります。
- 被写体との距離、被写体の動く速さによっては、適切なピント合わせができないことがあります。

AF 方式を選ぶ

撮影シーンや被写体にあわせて、AF（自動ピント合わせ）の方法を変えることができます。

P



1 ボタン → [AF 追従] → 内容を選ぶ

追尾優先 AF	カメラが主被写体と判断した顔にピントを合わせて、撮影できます。一定の範囲で追尾します。
キャッチ AF	ピントを合わせたい被写体を選んで、撮影できます。
スポット 1 点 AF	1 点 AF より小さい 1 点のフレームでピント合わせを行います。
1 点 AF	1 点のフレームでピント合わせを行います。確実なピント合わせに有効です。



- 暗い被写体、明暗差（コントラスト）のない被写体、非常に明るいシーンでは、ピントが合うまでに時間がかかったり、適切なピント合わせができないことがあります。

👁️ + 追尾優先 AF

- カメラを被写体に向けると、主被写体と判断した顔に白のフレームが表示されます。
- カメラを被写体に向けても顔が検出されないときは、シャッターボタンを半押しすると、ピントの合った位置に緑色のフレームが表示されます。
- 次のときは、被写体の顔が検出されないことがあります。
 - 被写体までの距離が遠い、または極端に近い。
 - 被写体が暗い、または明るい。
 - 顔が横や斜めを向いている、または一部が隠れている。
- 人の顔以外を、誤って検出することがあります。
- ボタンを押すと、「顔セレクト：入」が表示され、主被写体として検出された顔に が表示されます。続けて ボタンを押すと、検出された別の顔に が移動します。検出された顔を一巡すると「顔セレクト：切」が表示されて解除されます。

● ピントを合わせたい被写体を選んで撮る（キャッチ AF）



1 [中心]

- 画面中央に が表示されます。



2 ピントを合わせたい被写体を選ぶ

- 被写体に が重なるようにカメラを動かして ボタンを押します。



- 被写体が検出されると、 が表示されます（動いていても一定の範囲で追いつけます）。
- 被写体が検出できなくなったときは、 が表示されます。
- もう一度 ボタンを押すと解除されます。

3 撮影する

- シャッターボタンを半押しすると、 が青色の に変わり、被写体を追いつけながら、ピントと露出を合わせ続けます（サーボ AF）（ 113）。
- シャッターボタンを全押しして撮影します。
- 撮影後も が表示され、被写体を追いつけます。



- [AF 動作] は [SERVO] に固定されます。
- 被写体が小さすぎる、動きが速い、被写体と背景との明暗差や色の差が小さいときは、追尾できないことがあります。
- は設定できません。
- [MF] に設定するときは、 ボタンを押して、[MF] を選びます。

● AF フレームの位置を変える

AF 方式が [1 点 AF] と [スポット 1 点 AF] のときは、AF フレームの位置を変えることができます。



1 ボタンを押す

2 AF フレームを移動する

- 移動：▲／▼／◀／▶ ボタンまたは ダイヤル
- 元の位置（中央）に戻る：INFO ボタン



- ボタンを押したままにしても、AF フレームを元の位置（中央）に戻すことができます。

フォーカス設定を切り換える

コンティニユアス AF 機能は、シャッターボタンを押さなくても、カメラを向けた方向の被写体へ常にピントを合わせます。設定を変えると、シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせるようにすることができます。

P



1 【コンティニユアス AF】

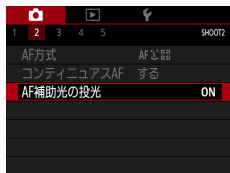
する	シャッターボタンを半押しするまで常にピントを合わせ続けるので、とっさのシャッターチャンスを逃さずに撮影できます。
しない	通常はピント合わせを行わないため、消費電力をおさえることができます。ただし、ピント合わせに時間がかかることがあります。



AF 補助光（ランプ）の投光を設定する

暗いところでシャッターボタンを半押しすると、ピントを合わせるためにランプ（前面）が点灯します。このランプを点灯させるかどうか設定できます。

AUTO



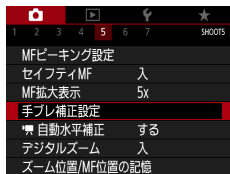
1 [AF 補助光の投光]



手ブレ補正の設定を変える

手ブレ補正の設定を変えることができます。

P



1 [手ブレ補正設定] → [手ブレ補正]

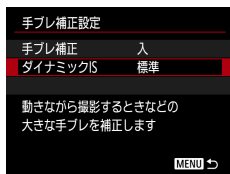
切	手ブレ補正を切ります。
入	撮影状況に最適な手ブレ補正に自動設定されます。
撮影時	撮影する瞬間のみ手ブレ補正します。



- 動画を撮影するときは、[手ブレ補正] を [撮影時] に設定していても、[入] に変わります。
- 手ブレを補正しきれないときは、三脚などでカメラを固定してください。また、三脚などでカメラを固定するときは、[手ブレ補正] を [切] にすることをおすすめします。

● 非常に強い手ブレを補正する

動きながら動画を撮影するときなどの非常に強い手ブレを補正します。[標準] よりも画面に表示される範囲が変わり、さらに被写体が大きくなります。

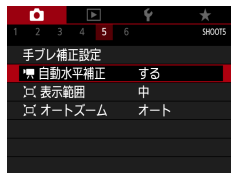


1 [ダイナミック IS] → [強]



自動水平補正を使う

動画を撮影するときに、画面を水平に保つように補正します。撮影をはじめると、画面に表示される範囲が変わり被写体が大きくなることがあります。



1 [自動水平補正]





デジタルテレコンバーターを使う

レンズの焦点距離を 1.6 倍／2.0 倍にできます。ズーム操作(デジタルズーム含む)で同じ倍率に拡大したときよりも、シャッタースピードが速くなるため手ブレを軽減できます。

P



1 【デジタルズーム】 → 【テレコン 1.6x】 または 【テレコン 2.0x】

- 画面が拡大表示されて、倍率が表示されます。



- ズームレバーやズームボタンをT側に押してもっとも望遠側にしたときのシャッタースピードは、デジタルズーム領域まで拡大したときのシャッタースピードと同じになることがあります。



123



ズーム位置や MF 位置を記憶する

ズーム位置や、マニュアルフォーカスで合わせたピント位置を記憶します。電源を入れたおいても、記憶した位置で撮影を開始することができます。

P



1 [ズーム位置 /MF 位置の記憶]



2 設定する



- [ズーム位置 /MF 位置の記憶] → [MF 位置記憶] → [入] にし、マニュアルフォーカスのままカメラの電源を切ると、次回電源を入れたときもマニュアルフォーカスの状態が維持されます。
- **C1/C2**モードでは、設定を登録したときのズーム位置に戻ります。
- 記憶したズーム位置への復帰は、**P/Tv/Av/M**モードのときのみ有効です。
- [ロ]オート：入 で、[ロ]ボタンを押して自動でズームしたときのズーム位置は記憶されません。

動画の記録サイズを変える

動画の記録サイズを設定できます。フレームレートとは 1 秒間に何コマ記録するかのこと、ビデオ方式の設定にあわせて選択できる項目が変わります。



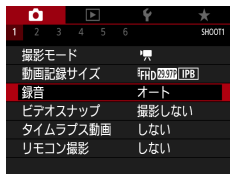
1 ボタン → **[4K 29.97P]** → 内容を選ぶ



- **[4K 29.97P]** **[4K 25.00P]** は、 モードのときのみ設定できます。
- **[4K 29.97P]** **[4K 25.00P]** は、ほかの記録サイズよりも被写体が大きくなります。
- 4K 動画を長時間撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなり、 が表示され撮影が中断されます。そのときは、動画撮影ボタンを押しても撮影できません。メッセージにしたがって **[4K 29.97P]** **[4K 25.00P]** 以外の動画記録サイズに設定するか、電源を切ってからカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。

録音に関する設定をする

録音に関するいろいろな機能を設定できます。



1 📷 [録音]

● 録音レベル（録音音量）を設定する

録音の設定が「オート」のときは、撮影時に自動で録音レベル（録音音量）調整がされます。撮影シーンにあわせ手動で調整したいときは設定を「マニュアル」に変更します。



1 [録音] → [マニュアル]



2 [録音レベル]

- 📷 ボタン → ◀▶ ボタン



- 録音レベルを元に戻すときは、[録音] 画面で [オート] を選びます。

● ウィンドカット

ウィンドカットは、風が強い場所で撮影するときに、風音の影響を低減し雑音をおさえる機能です。風がない場所で撮影したときに不自然な音になることがあります。このときは「ウィンドカット」の設定を「切」に変更します。



- 1 「ウィンドカット / アッテネーター」→
「ウィンドカット」

● アッテネーター

アッテネーターは、大音響で撮影するときに、大きすぎる音をおさえて録音が音割れしないようにする機能です。アッテネーターの設定には、撮影シーンに応じて自動でオン・オフをする「オート」「入」「切」の3種類があります。



- 1 「ウィンドカット / アッテネーター」→
「アッテネーター」

動画サーボ AF を設定する

動画撮影のときに被写体に対して常にピントを合わせ続けるかどうかを設定できます。



1 [動画サーボ AF]

する	シャッターボタンを半押ししなくても、被写体に対して常にピントを合わせ続けます。
しない	動画撮影中、ピントは固定されます。



- 狙った位置でピントを止めたいときや、レンズの作動音などが記録されるのが気になるときは、▶ボタンを押すと、動画サーボ AF を一時的に停止できます。

動画オートスローシャッターを使う

【FHD 59.94P】 【HD 59.94P】 【FHD 50.00P】 【HD 50.00P】 での動画撮影中に、シャッタースピードを自動的に遅くするかどうかを設定できます。



1 カメラアイコン 【オートスローシャッター】

する	暗い場所で動画撮影を行ったときに、シャッタースピードを自動的に 1/30 秒まで遅くして、明るくノイズを抑えた映像を撮影できます。
しない	【する】 設定時よりも被写体のブレが少なく、自然でなめらかな動きが撮影できます。ただし、暗い場所では、【する】 に設定したときよりも、映像が暗くなることがあります。



- 暗い場所で動きのある被写体を撮影するときや、尾を引いたような残像が出るときは、【しない】 に設定することをおすすめします。

ミニチュア模型のような動画を撮る (ジオラマ風動画)

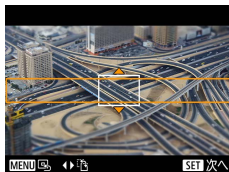


ジオラマ風動画

指定した範囲以外をぼかして撮ることで、ミニチュア模型のような効果をつけて動画を撮影できます。

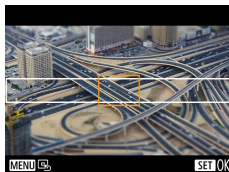


1 ボタン → [OFF] → 内容を選ぶ



2 ぼかさない範囲（ジオラマ枠）を設定する

- INFOボタン → ▲/▼ボタン → 枠を移動する → ボタン



3 ピントを合わせる位置（AF フレーム）を設定する

- ▲/▼/◀/▶ボタン → AF フレームを移動する → ボタン

4 撮影をはじめる

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、動画撮影ボタンを押します。

動画を 1 分間撮影したときの倍速と再生時間の目安

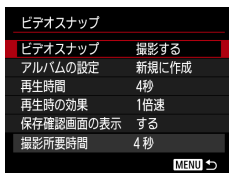
倍速	再生時間
5x	約 12 秒
10x	約 6 秒
20x	約 3 秒



- AF フレームは、ダイヤルでも移動できます。
- 音声は録音されません。
- [] [] [] を選んで動画を撮影すると、再生時には風景の中の人やものが早送りで動きます。そのため、ミニチュア模型のように見えます。

ビデオスナップを撮る

1 スナップが数秒間（約 4 / 6 / 8 秒）の短い動画「ビデオスナップ」を繰り返し撮影して、旅行やイベントなどの思い出を、1 つの動画に簡潔にテンポ良くまとめた「ビデオスナップアルバム」（以下アルバム）を作ることができます。

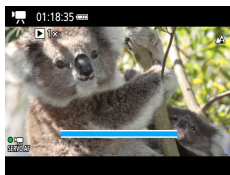


1 [ビデオスナップ] → [ビデオスナップ] → [撮影する]

2 設定する

再生時間	ビデオスナップの再生にかかる時間を選びます。
再生時の効果	ビデオスナップの再生時にかける効果を選びます。
保存確認画面の表示	撮影後の動作を確認する画面を表示するかしないかを選びます。

- [再生時間] と [再生時の効果] から決まる、実際の撮影にかかる時間（[撮影所要時間]）が表示されます。
- 2 回目の撮影からは、[アルバムの設定] で、ビデオスナップを保存するアルバムを選べます。



3 撮影をはじめる

- MENUボタンで撮影画面に戻り、動画撮影ボタンを押します。
- 撮影時間に連動したバーが表示され、自動的に撮影が終わります。



4 アルバムに保存する

- 手順2の「保存確認画面の表示」で「しない」を設定しているときは、この画面は表示されず、ビデオスナップは自動的に手順2の「アルバムの設定」で選んだアルバムに保存されます。
- 必要に応じて手順3～4の操作を繰り返します。

5 ビデオスナップ撮影を終了する

- ④ボタン → [ON] → [OFF]

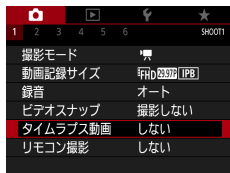


- アルバムの記録時間が5分を超えると、新規アルバムに保存されます。
- 1スナップの再生時間は目安です。
- 動画の記録サイズは、[FHD 29.97P] または [FHD 25.00P] に設定してください。
- 撮影を途中停止した動画は、通常の動画として保存されます。
- [再生時の効果] で、[2倍速] と [1/2倍速] を選んだときは、音声は録音されません。



タイムラプス動画を撮る

一定間隔で撮影した画像をつなげることで 1 つの動画を作成します。景色の変化など、被写体の変化を早送りで見ることができます。



1 📷 [タイムラプス動画] → [タイムラプス撮影] → [シーン*]



2 設定する

- 撮影間隔などを設定します。

3 撮影をはじめる

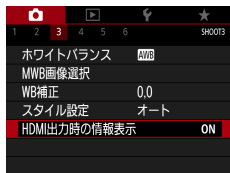
- MENUボタンで撮影画面に戻ります。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、動画撮影ボタンを押します。



- 項目を設定すると、📷 撮影所要時間と [▶] 動画再生時間が表示されます。
- [モニター自動消灯] で [しない] を選ぶと、撮影開始から約 30 分後に画面が消えます。[する] を選ぶと、1 フレーム目の撮影後、約 10 秒経過すると、画面が消えます。
- 撮影中はカメラに触らないようにしてください。
- 撮影を中止するときは、もう一度動画撮影ボタンを押します。
- 動きの速い被写体を撮影すると、被写体がゆがんで写ることがあります。
- 音声は録音されません。

HDMI 出力時の情報表示を設定する

HDMI で出力される映像に、画面の情報表示を重ねるかどうか設定できます。

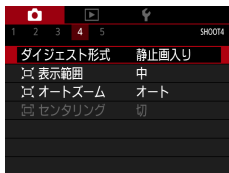


1 [HDMI 出力時の情報表示]

あり	動画撮影中は、情報表示が重なった映像が HDMI 出力されます。カメラのモニターには映像は表示されません。動画撮影を行うことができます。
なし / 4K	4K 映像のみ（情報表示なし）が HDMI 出力されます。カメラのモニターには情報表示が重なった映像が表示されません。動画撮影はできません。
なし / FHD	FHD 映像のみ（情報表示なし）が HDMI 出力されます。カメラのモニターには情報表示が重なった映像が表示されません。動画撮影はできません。

ダイジェスト形式を設定する

モードで撮影すると、静止画とダイジェスト動画が記録されますが、ダイジェスト動画の中に静止状態の映像を記録するかどうかを設定できます。



1 [ダイジェスト形式]

静止画入り	ダイジェスト動画の中に静止状態の映像が記録されます。
静止画なし	ダイジェスト動画の中に静止状態の映像は記録されません。

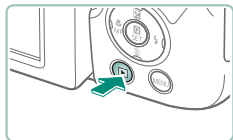
再生

撮った画像を見て楽しんだり、いろいろな機能を使って画像の検索や編集をすることができます。

-  ボタンを押して、再生表示にしてから操作してください。

見る

撮影した画像を画面で見ることができます。



1 ▶ボタンを押す



2 画像を選ぶ

- 動画は、**[SET 再生]** が表示されます。



動画を再生するとき

- 再生ボタン → もう一度 再生ボタン
- ▲/▼ボタンで音量を調整します。





- カメラの電源が切れた状態で ボタンを押すと、画像が再生され、もう一度押すと、電源が切れます。
- 再生表示では、約 1 分経過するとレンズが収納されます。レンズが収納されているときは、 ボタンを押すと電源が切れます。
- 再生表示の状態で「シャッターボタンを半押しする」、「動画撮影ボタンを押す」、「モードダイヤルを回す」のいずれかの操作で撮影モードになります。
- パソコンで編集した画像やファイル名を変えた画像は、再生や編集ができません。
- 動画の再生中、 ボタンを押すたびに一時停止／再開ができます。
- RAW 画像を表示したとき、縦横比の目安となる線が表示されます。縦横比 **[3:2]** **[16:9]** で撮影した画像には画面の上下に、縦横比 **[1:1]** で撮影した画像には画面の左右に表示されます。

拡大して見る

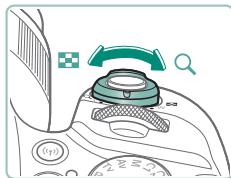
画像を拡大して見ることができます。



1 画像を選ぶ

2 拡大／縮小する

- 拡大：ズームレバーQ側
- 縮小：ズームレバー側



- 表示位置の移動：▲／▼／◀／▶ボタン



- 画像を拡大して再生しているときに、ダイヤルを回すと拡大したまま画像を切り換えられます。

短編動画（ダイジェスト動画）を見る

Ⓐモードで静止画を撮影すると短編動画（ダイジェスト動画）が作成されます。ダイジェスト動画は、作成された日にちごとに再生されます。



1 【SET】 画像を選ぶ



2 再生ボタン → 【SET】

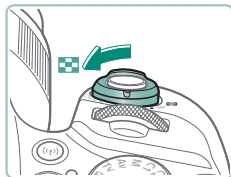
- 静止画を撮影した日に作成されたダイジェスト動画が先頭から再生されます。



- 情報表示なしにしているときは、一定時間で【SET】が消えます。

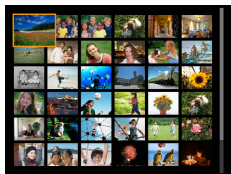
一覧表示（インデックス表示）で探す

複数の画像を一覧で表示して、目的の画像を素早く探せます。



1 ズームレバーを▣▣側に押す

- 表示画像数を増やす：ズームレバー▣▣側
- 表示画像数を減らす：ズームレバーQ側



2 画像を探す

- ▲／▼／◀／▶ボタンまたは☀️ダイヤル

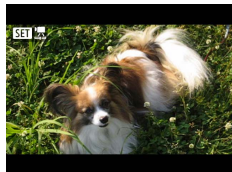
3 画像を選ぶ

- ㊟ボタン

動画を編集する

● 動画の前後を削除する

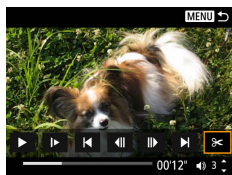
撮影した動画の前後を削除できます（ダイジェスト動画（[📖53](#)）、ビデオスナップ（[📖132](#)）を除く）。



1 **[SET]** 動画を選ぶ

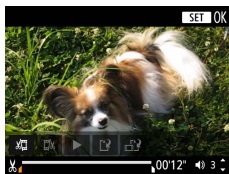


2 ボタン → **[▶]**



3 **[✂]** を選ぶ

- 再生中に ボタンを押して **[✂]** を選びます。
- 動画編集パネルと動画編集バーが表示されます。



4 編集範囲を指定する

- [⏏] または [⏏] を選びます。
- ◀/▶ ボタンを押して [⏏] または [⏏] を動かすと、編集できるところで [⏏] が表示されます。編集するところで、⏏ ボタンを押します。

5 編集した動画を確認する

- 再生：[▶]
- 編集中止：MENU ボタン

6 保存する

- [⏏] → [新規保存]
- 圧縮して新規保存する：[⏏] → [OK]



[圧縮して新規保存] を選んだときの圧縮後の画質

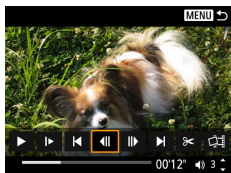
圧縮前	圧縮後
4K 29.97P、FHD 59.94P、FHD 29.97P	FHD 29.97P
4K 25.00P、FHD 50.00P、FHD 25.00P	FHD 25.00P
FHD 59.94P	FHD 29.97P
FHD 50.00P	FHD 25.00P



- 編集範囲を指定するときに [⏏] を [⏏] 以外の位置に指定しても、[⏏] では 1 つ左側の [⏏] 位置よりも前部、[⏏] では 1 つ右側の [⏏] 位置よりも後部が削除されます。
- 編集した動画を保存する画面で [上書き保存] を選んだときは、編集内容が上書きされるため、編集前の動画は残りません。
- カードの空き容量が足りないときは、[上書き保存] しか選べません。
- 動画の保存中にバッテリーがなくなると、保存できないことがあります。
- 編集するときは、フル充電されたバッテリーを使うことをおすすめします。

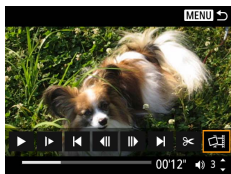
● 4K 動画のフレームを静止画として切り出す

【4K 29.97P】 【4K 25.00P】 で撮影された動画は、任意のフレームを静止画として保存できます。



1 切り出すフレームを選ぶ

- 再生中に [SET] ボタンを押して [⏮] または [⏭] でフレームを選びます。



2 保存する

- [OK] → [OK]

● ダイジェスト動画を編集する

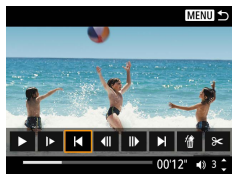
Ⓐモードで作成されたチャプター（📖53）を1つずつ選んで消すことができます。消したチャプターは元に戻すことはできないため、十分に確認してから消してください。



1 [SET] 画像を選ぶ

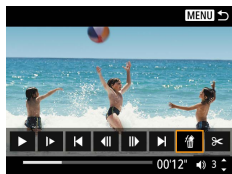


2 ⑧ボタン→ [📷]



3 チャプターを選ぶ

- 再生中に⑧ボタンを押して ⏮ または ⏭ でチャプターを選びます。



4 選んだチャプターを消す

- [🗑] → [OK]



- [このチャプターを消去しますか?] の画面で [OK] を選んで ボタンを押すと、チャプターが消去され、上書き保存されます。
- ビデオスナップの撮影時に作成されたアルバムも編集することができます。 [アルバム編集] で作成されたアルバムは編集できません。

画像を保護する（画像プロテクト）

大切な画像をカメラの消去機能で誤って消さないよう、選んだ画像を保護することができます。

保護された画像には、マークが表示されます。

1 画像を選ぶ

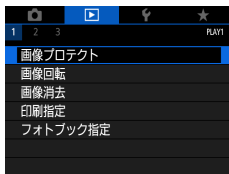
2 ボタン → → [する]



- カードを初期化すると、保護された画像も消えます。
- 保護された画像は、カメラの消去機能では消えません。画像を消すときは、保護を解除してください。
- 指定した条件で画像を検索した結果が表示されているときは、 [画像プロテクト] または  ボタン →  → INFOボタンで [検索結果・全画像] [検索結果・全解除] が選べます。
 - [検索結果・全画像] を選ぶと、検索結果として表示されている画像がすべて保護されます。
 - [検索結果・全解除] を選ぶと、検索結果として表示されている画像の保護がすべて解除されます。
-  [画像プロテクト] → [画像を選択] を選んだときの画面に  が表示された状態で、もう一度  ボタンを押すと  が消え、保護が解除されます。

● まとめて保護する

画像を選んでまとめて保護することができます。



1 [画像プロテクト]



2 画像を指定する



1 枚ずつ指定する

- [画像を選択] → 画像を選ぶ → ボタン → MENU ボタン



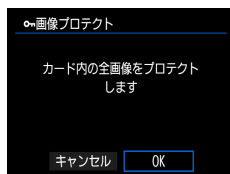
範囲で指定する

- [範囲指定] → 始点の画像を選ぶ → ボタン → 終点の画像を選ぶ → ボタン → MENU ボタン



フォルダ内のすべての画像を指定する

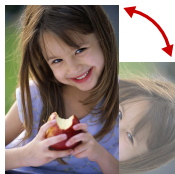
- [フォルダ内・全画像] → フォルダを選ぶ
→ [OK]



カード内のすべての画像を指定する

- [カード内・全画像] → [OK]

画像を回転する



画像の向きを変えて保存することができます。

1 画像を選ぶ

2 ④ボタン→ [Q] →内容を選ぶ



画像を消す

不要な画像は消せます。消した画像は元に戻せないなので十分に確認してから消してください。

1 画像を選ぶ

2 ▼ボタンを押す

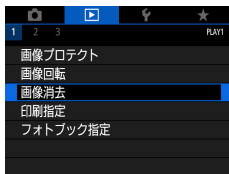
- 消去の項目を選ぶ→ボタン



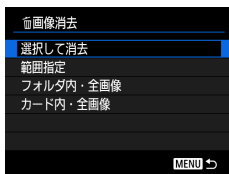
- 保護された画像は消えません。
- RAW と JPEG を同時記録した画像を表示して▼ボタンを押すと、**[RAWのみ消去]** **[JPEGのみ消去]** **[RAW+JPEG消去]** が表示されます。項目を選んで画像を消すことができます。
- 指定した条件で画像を検索した結果が表示されているときは、 **[画像消去]** で **[検索結果・全画像]** が選べます。
 - **[検索結果・全画像]** を選ぶと、検索結果として表示されている画像がすべて消去されます。
-  **[画像消去]** → **[選択して消去]** を選んだときの画面に **[✓]** が表示された状態で、もう一度ボタンを押すと **[✓]** が消え、選択が解除されます。

● まとめて消す

画像を選んでまとめて消すことができます。



1 [画像消去]



2 画像を指定する



1 枚ずつ指定する

- [選択して消去] → 画像を選ぶ →  ボタン
- [✓] が付きます。
- MENUボタン → [OK]



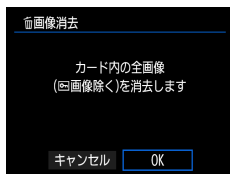
範囲で指定する

- [範囲指定] → 始点の画像を選ぶ →  ボタン → 終点の画像を選ぶ →  ボタン → MENUボタン → [OK]



フォルダ内のすべての画像を指定する

- [フォルダ内・全画像] → フォルダを選ぶ
→ [OK]



カード内のすべての画像を指定する

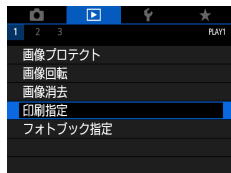
- [カード内・全画像] → [OK]



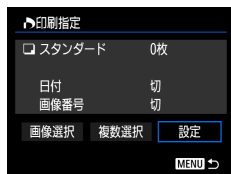
- RAW と JPEG を同時記録した画像を選ぶと両方消去されます。

印刷指定（DPOF）をする

カード内の画像から印刷したい画像や印刷枚数などを指定して、一括で印刷したり（最大 400 画像）、写真店へ印刷を注文することができます（最大 998 画像）。なお、この指定方法は、DPOF（Digital Print Order Format）規格に準拠しています。



1 印刷指定



2 印刷指定をする

画像を指定する

- [画像選択] または [複数選択] → 印刷指定する画像や枚数を指定する
- MENUボタンを押して印刷指定画面に戻ります。

その他の設定をする

- [設定] → 項目を選ぶ → 内容を選ぶ
- MENUボタンを押して印刷指定画面に戻ります。



- RAW 画像と動画は指定できません。
- プリンターまたは写真店によっては、設定した内容が反映されないことがあります。
- [日付] を [入] に設定すると、お使いのプリンターによっては、日付が重複して印刷されることがあります。

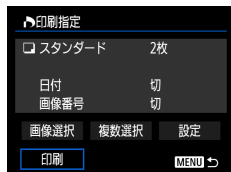
● 印刷指定（DPOF）した画像を印刷する

1 カメラと PictBridge 対応プリンターをつなぐ

- 再生画面が表示されます。
-  ボタン → [印刷指定]

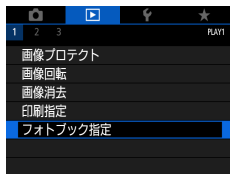
2 印刷する

- [印刷] → [OK]



フォトブック指定をする

カード内の画像からフォトブックに使いたい画像を指定できます（最大 998 画像）。



1 ▶ [フォトブック指定]



2 画像を指定する

1 枚ずつ指定する

- [画像を選択] → 画像を選ぶ →  ボタン → MENU ボタン

範囲で指定する

- [複数選択] → [範囲指定] → 始点の画像を選ぶ →  ボタン → 終点の画像を選ぶ →  ボタン → MENU ボタン

フォルダ内のすべての画像を指定する

- [複数選択] → [フォルダ内の全画像を指定] → フォルダを選ぶ → [OK]

カード内のすべての画像を指定する

- [複数選択] → [カード内の全画像を指定] → [OK]

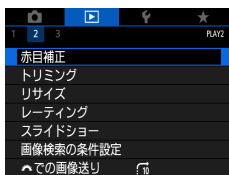


- RAW 画像と動画は指定できません。

赤目を補正する



目が赤く撮影されてしまった画像の赤目部分を自動的に補正します。別画像として保存できます。



1 ▶ [赤目補正]

2 画像を選ぶ

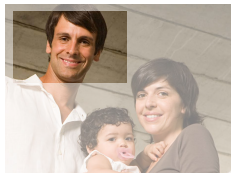
3 ㊟ ボタンを押す

4 保存する



- 赤目部分が補正されると、補正した部分に枠が表示されます。
- 画像によっては、正しく補正されないことがあります。

画像を切り抜く（トリミング）



撮影した画像の必要な部分を切り抜き、別画像として保存できます。



1 ボタン → [t]]



2 切り抜き範囲を調整する

- 枠サイズ縮小：ズームレバーQ側
枠サイズ拡大：ズームレバー  側
- 枠の位置移動：▲／▼／◀／▶ボタン
- 傾き補正：  ダイヤル →  →  ボタン →  ダイヤル
- アスペクト比変更：  ダイヤル →  →  ボタン
- イメージ確認：  ダイヤル →  →  ボタン



3 保存する

-  ダイヤル → [L] → [OK]



- RAW 画像は編集できません。
- 一度トリミングした画像を、もう一度トリミングすることはできません。
- トリミングした画像に、リサイズ処理を行うことはできません。
- トリミングした画像の記録画素数は、トリミング前の画像より小さくなります。
- トリミング後のイメージを表示しているときに、トリミングする位置、大きさ、縦横比を変えることもできます。
-  [トリミング] を選んだあと、画像を選んで  ボタンを押すことでも、トリミング枠の大きさ、位置、傾き、縦横比を設定できます。

画像を小さくする（リサイズ）



撮影した画像の画素数を少なくして、別画像として保存できます。



1  ボタン → [C] → 内容を選ぶ

2 保存する



- RAW 画像は編集できません。

お気に入り設定をする（レーティング）

5段階でお気に入りのレベル（レーティング）を設定して、撮影した画像を分類できます。

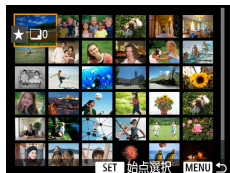
1 画像を選ぶ

2 ⑨ボタン→[★]→内容を選ぶ

- 複数の画像を選択するとき：INFOボタン→項目を選ぶ



- [範囲指定]：始点の画像を選ぶ→⑨ボタン→終点の画像を選ぶ→⑨ボタン→MENUボタン→☀️ダイヤルでレベルを選ぶ→[OK]



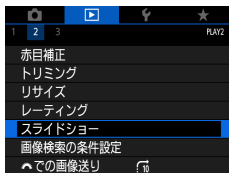
- [カード内・全画像]：☀️ダイヤルでレベルを選ぶ→[OK]



- 特定のレベルの画像だけを検索して、次の操作をすることができます。
 - 「見る」、「画像を保護する」、「画像を消す」、「印刷指定（DPOF）をする」、「フォトブック指定をする」、「スライドショーで見る」
- レーティングを解除するときは、⑨ボタンを押して、設定項目の[★]から[OFF]を選び、⑨ボタンを押します。
- [▶] [レーティング] で設定すると、フォルダ内の全画像に設定することができます。

スライドショーで見る

カードに記録されている画像を自動的に再生します。



1 ▶ [スライドショー] → [スタート]



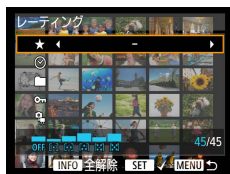
- 再生すると、[画像読み込み中] が数秒間表示されたあと、スライドショーが始まります。
- **MENU**ボタンを押すと、スライドショーが終わります。
- スライドショー中に節電機能は働きません。
- 再生中に⏸ボタンを押すと一時停止／再開ができます。
- 再生中に◀/▶ボタンを押すと画像を切り換えられます。◀/▶ボタンを押したままにすると早送りできます。
- スライドショーを開始する画面で[設定]を選ぶと、スライドショーの繰り返しや再生画像 1 枚あたりの表示時間、切り換わるときの効果（再生効果）を変えられます。

指定した条件で画像を探す

カード内に多くの画像があるときは、指定した条件で画像を検索して、目的の画像を素早く探せます。

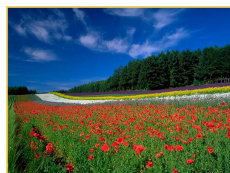


1 ㊟ボタン→ [㊟]



2 条件を指定する

- 項目：▲／▼ボタン
- 内容：◀／▶ボタン



3 指定を完了する

- MENUボタン→ [OK]
- 検索した画像が黄色の枠つきで表示されます。

検索を解除するとき

- ㊟ボタン→ [㊟] → INFOボタン→ MENUボタン→ [OK]



- 検索した画像の表示中は黄色の枠が表示され、㊟ボタンを押すと検索した画像だけをまとめてプロテクトやレーティングすることができます。
- 画像を編集して新規保存などを行うとメッセージが表示されて、検索した画像の表示が解除されます。

電子ダイヤルで画像を探す

⚙️ダイヤルを使って、指定した条件で画像を飛ばして、目的の画像を素早く探せます。



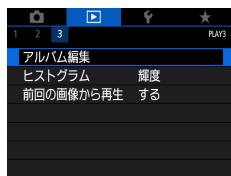
1 Ⓜ️ボタン → [🔍] → 内容を選ぶ



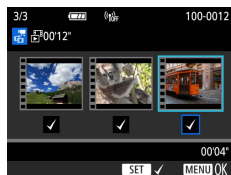
2 画像を探す
● ⚙️ダイヤル

ビデオスナップを結合して動画作品を作る

複数のビデオスナップを結合して、新しい動画作品（アルバム）を作ることができます。

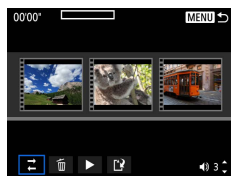


1 1 [アルバム編集]



2 動画を指定する

- 動画（既存のアルバム）を選びⓂボタン → MENUボタン → [OK]



3 編集する

- 手順 2 で選んだ動画に保存されているビデオスナップが表示されます。
- 画面下段の編集メニューを選びⓂボタンを押します。
- 画面上段で編集の対象のビデオスナップを選び、編集します。

⇄ ビデオスナップ並べ換え	ビデオスナップの順序を入れ換えます。順序を移動させたいビデオスナップを選択し、  ボタンを押します。◀/▶ ボタンで移動させることができます。
🗑 ビデオスナップ削除	新しいアルバムには入れないビデオスナップを選択します。[🗑] アイコンが表示されたビデオスナップは新しいアルバムには入りませんが、元のアルバムからは削除されません。
▶ ビデオスナップ再生	選択したビデオスナップを再生します。
[✔] 編集完了	アルバムの編集を完了します。

4 編集を完了する

- MENU ボタンで編集メニューに戻ります。
- [✔] を選んで編集を完了します。

5 保存する

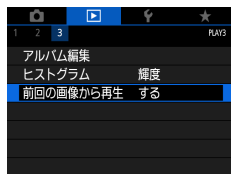
- [保存する] を選びます。
- [BGM 選択] を選ぶと、BGM をつけることができます。
- [プレビュー] を選ぶと、新しく編集したアルバムがプレビュー再生されます。



- ▶ [アルバム編集] で作成したアルバムは、編集できません。

前回の画像から再生する

再生画面にしたときに表示される画像の開始位置を設定できます。



1 ▶ [前回の画像から再生]

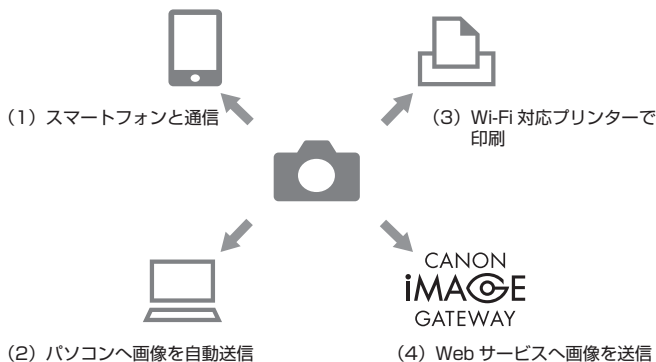
する	前回再生画面で表示した画像を表示します。
しない	最新の画像を表示します。

無線機能

カメラで撮影した画像を無線でいろいろな無線対応機器へ送ったり、Webサービスを利用することができます。

無線機能を使う前に「無線機能について」(📖 259)を必ずお読みください。

無線機能でできること



- (1) スマートフォンと通信 (📖 172、📖 179)
 スマートフォンやタブレットに Wi-Fi 接続して、専用アプリケーション Camera Connect を使ってカメラをリモート操作したり、カメラ内の画像を見ることができます。
 また、Bluetooth®* で接続したときは、位置情報の付加などを行うことができます。
 なお、本ガイドでは、スマートフォンとタブレットをあわせて「スマートフォン」と記載しています。
- * Bluetooth low energy technology (以降は「Bluetooth」と記載)
- (2) パソコンへ画像を自動送信 (📖 186)
 パソコンに Wi-Fi 接続し、Image Transfer Utility 2 を使って、カメラの画像をパソコンに自動送信することができます。

- (3)  Wi-Fi 対応プリンターで印刷 (📖 182)
Wi-Fi で使える PictBridge (Wireless LAN) に対応したプリンターに Wi-Fi 接続して、画像を印刷することができます。
- (4)  Web サービスへ画像を送信 (📖 190)
キヤノンユーザーのためのオンラインフォトサービス CANON iIMAGE GATEWAY (登録無料) を通じて、家族や友人との画像共有や、さまざまな Web サービスを利用した画像共有を行うことができます。

カメラ内の画像をスマートフォンに保存する

Bluetooth 対応スマートフォンとカメラを Wi-Fi 接続し、カメラ内の画像をスマートフォンに保存することができます。

スマートフォンは、事前に以下の準備をします。

- スマートフォンに専用のアプリケーション Camera Connect (無料) をインストールする必要があります。
- アプリケーションの詳細 (対応するスマートフォンや機能など) については、弊社 Web サイトで確認してください。
- Camera Connect は、Google Play または App Store からインストールすることができます。Google Play または App Store は、スマートフォンの登録時にカメラの画面に表示される QR コードからもアクセスできます。
- スマートフォンの OS は、最新のバージョンをお使いください。
- スマートフォンの Bluetooth 機能と Wi-Fi 機能を ON にしてください。なお、スマートフォンの Bluetooth 機能設定画面では、カメラとのペアリングはできません。



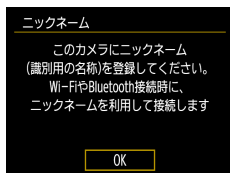
1 無線通信の設定



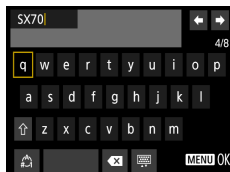
2 Bluetooth 機能



3 [Bluetooth 機能]→[スマートフォン]

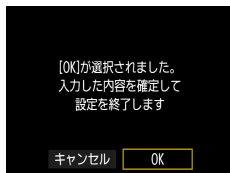


4 [SET] ボタンを押す



5 ニックネームを登録し、MENUボタンを押す

- 表示されているニックネームを使用するときは、MENUボタンを押します。



6 [OK]



7 [ペアリング]

スマートフォンにCamera Connectをインストールしてください。
ダウンロードサイトのQRコードを表示しますか？

表示しない

Android

iOS

ペアリング

ペアリング中です。
スマートフォンのCanonアプリを
操作してください

キャンセル



8 【表示しない】

9 スマートフォンで Camera Connect
を起動する

10 ペアリングするカメラのニックネーム
をタッチする

11 【ペアリング】をタッチする (iOS のみ)

12 カメラで 【OK】 を選ぶ

ペアリング

XXXXX
と接続します

キャンセル

OK

ペアリング

XXXXX
と接続しました

OK

13  ボタンを押す

- ペアリングが完了して、スマートフォン
と Bluetooth 接続されます。



14 Camera Connect で [カメラ内の画像一覧] をタッチする

- 自動的に Wi-Fi 接続されます。
- iOS のときは、カメラへの接続を確認する画面が表示されたら [接続] を選びます。

15 Wi-Fi 接続完了を確認する

- スマートフォンにカメラ内の画像の一覧が表示されます。
- カメラに [Wi-Fi 動作中] 画面が表示されます。



16 スマートフォンにカメラ内の画像を保存する

- スマートフォンに表示されたカメラ内の画像の一覧から、画像を選んで保存します。



- Bluetooth 接続中にカメラのバッテリーを取り出すと、Bluetooth 接続が切れます。バッテリーを入れて電源を入れると再接続します。
- スマートフォンとペアリングしたあとは、カメラの電源が切れている状態でもバッテリーを消耗するため、カメラを使うときにバッテリーの残量が少なくなっていることがあります。
- Bluetooth 機能使用中は、カメラの電源を切っても Bluetooth で通信ができる状態になっているため、電子機器の使用が制限されている場所では、 [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能] → [Bluetooth 機能] → [使わない] に設定してください。
- Wi-Fi の電波を出したくないときは、 [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定] → [Wi-Fi] → [使わない] を選びます。
- カメラのニックネームは、 [無線通信の設定] → [ニックネーム] で変更できます。
- Wi-Fi 接続中または Bluetooth 接続中（Android のみ）のスマートフォンに、カメラの再生表示で画像を選んで送信することができます。 ボタンを押して、 を選びます。

Wi-Fi ボタンでスマートフォンと Wi-Fi 接続する

(iP)ボタンからでも、スマートフォンと Wi-Fi 接続することができます。



1 (iP)ボタンを押す

2 ニックネームを登録する

- [ニックネーム] の画面が表示されたときは、ニックネームを登録します (172)。

3

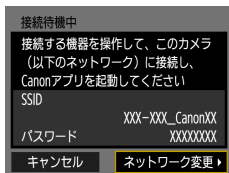


4 [接続先の機器の登録]



5 [表示しない]





6 SSID とパスワードを確認する

7 スマートフォンをカメラに接続する

- スマートフォンの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID（ネットワーク名）を選んで接続します。
- スマートフォンのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

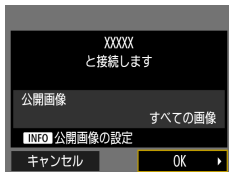
8 スマートフォンで Camera Connect を起動する

9 接続するカメラを選ぶ

- Camera Connect の [カメラ一覧] から、Wi-Fi 接続するカメラを選んでタッチします。

10 Wi-Fi 接続を確立する

- [OK] →  ボタン
- カメラの画面に [Wi-Fi 動作中] が表示されます。
- スマートフォンに、Camera Connect のメイン画面が表示されます。
- Wi-Fi 接続は完了です。



● 閲覧画像を制限する

スマートフォンに送信したり、スマートフォンで閲覧したりする画像を制限することができます。



- 1 Wi-Fi 切断中に、 ボタンを押す
- 2
- 3 [接続先の機器の編集] を選び、スマートフォンを選ぶ
- 4 [公開画像の設定] を選び、公開する画像を設定する



- [公開画像の設定] で [すべての画像] 以外を設定しているときは、Camera Connect のリモートライブビュー撮影はできません。

スマートフォンでできること

スマートフォンとカメラを無線接続すると、以下のようなことができます。スマートフォンとカメラは、「カメラ内の画像をスマートフォンに保存する」(P172) の手順 1 ～ 13 で Bluetooth 接続を、手順 1 ～ 15 で Wi-Fi 接続をします。

● 撮影しながらスマートフォンに画像を自動送信する

撮影しながら、Wi-Fi 接続中のスマートフォンに画像を自動送信することができます。



- 1 ④ [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定]
→ [スマートフォンへの撮影時画像送信]
- 2 [自動送信] → [する]
● [送信画像サイズ] を設定します。
- 3 撮影する
● スマートフォンに撮影した画像が送られます。

● スマートフォンでライブビュー映像を見ながらリモート撮影する

Wi-Fi 接続中のスマートフォンでカメラのライブビュー映像を見ながら、リモート操作で撮影することができます。



- 1 Camera Connect を起動する
- 2 [リモートライブビュー撮影] をタッチする



- 4K 動画や高フレームレートの FHD 動画を長時間撮影すると、カメラ内部の温度が一時的に高くなり、**[P✖]** が表示され撮影が中断されます。そのときは、動画撮影ボタンを押しても撮影できません。メッセージにしたがって **[4k 29.97P]** **[4k 25.00P]** **[FHD 59.94P]** **[FHD 50.00P]** 以外の動画記録サイズに設定するか、電源を切ってカメラ内部の温度が下がってから撮影してください。

● スマートフォンでカメラを操作する

Bluetooth 接続中のスマートフォンをリモコンにして、カメラの操作を行うことができます。



- 1 Camera Connect を起動する
 - Wi-Fi 接続されていたら切断します。
- 2 [Bluetooth リモートコントローラー] をタッチする

● 撮影する画像に位置情報を付加する

Bluetooth で接続しているスマートフォンの GPS 機能を利用して、撮影する画像に位置情報（緯度／経度／標高など）を付加することができます。画像に付加された位置情報は、再生画面で確認できます。スマートフォンの位置情報取得機能はオンにしておきます。



- 1 Camera Connect を起動する
 - Wi-Fi 接続されていたら切断します。
- 2  [GPS の設定]
- 3 [スマートフォン連携] → [する]

4 撮影する

- カメラの画面に [⌘] と [GPS] が表示されていることを確認して撮影します。
- 撮影した画像に位置情報が付加されます。
- 次回以降、Camera Connect が起動した状態で撮影すると、撮影した画像に位置情報が付加されます。



- 動画には撮影を始めたときの位置情報が記録されます。
- カメラの電源を入れた直後は位置情報が記録されないことがあります。
- 位置情報を記録した静止画や動画は、個人を特定する情報が含まれていることがあります。そのため、位置情報が記録されている静止画や動画を他人に渡したり、インターネットなどの複数の人が閲覧できる環境へ掲載するときは、十分注意してください。
- 画像に付加された位置情報は、再生画面を詳細な情報を表示する画面にすると、確認できます。表示内容は上から順に緯度、経度、標高、[UTC]（撮影日時）です。
- [UTC] は Coordinated Universal Time の略で、協定世界時であるグリニッジ標準時とほぼ同じ日時です。
- お使いのスマートフォンにない項目や正しく記録できなかった項目の数値には「--」が表示されます。

プリンターと Wi-Fi 接続する

カメラとプリンターを Wi-Fi 接続して、カメラ内の画像を印刷することができます。

1 (P)ボタンを押す

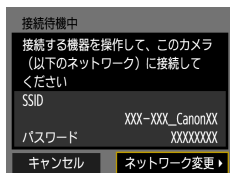
2 []



3 [接続先の機器の登録]



4 SSID とパスワードを確認する



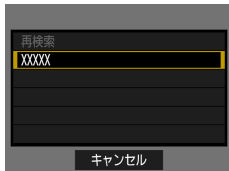


5 プリンターからカメラに接続する

- プリンターの Wi-Fi に関する設定メニューから、カメラに表示された SSID（ネットワーク名）を選んで接続します。
- プリンターのパスワード欄には、カメラに表示されたパスワードを入力します。

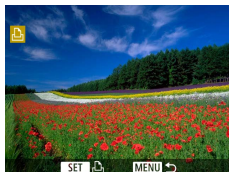
6 プリンターを選ぶ

- Wi-Fi 接続するプリンターを選び、 ボタンを押します。
- Wi-Fi 接続が完了すると、カード内の画像が表示されます。



7 画像を選んで印刷する

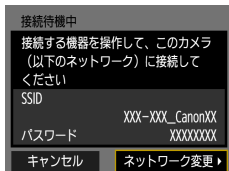
- 印刷する画像を選んで  ボタンを押します。
- 表示される項目を選択／設定して印刷します。



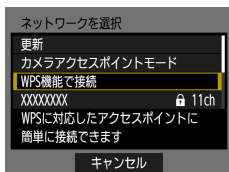
● アクセスポイント（Wi-Fi 親機）経由での接続方法

プリンターがアクセスポイントに接続されているときは、カメラもそのアクセスポイントに接続し、アクセスポイント経由で印刷します。

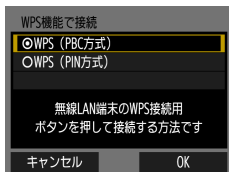
アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。



- 1 「プリンターと Wi-Fi 接続する」(P182) の手順 4 で「ネットワーク変更」を選ぶ



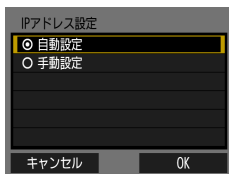
- 2 [WPS 機能で接続]



- 3 [WPS (PBC 方式)] → [OK]



- 4 アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押す



5 [自動設定] → [OK]

- カメラがアクセスポイントに接続されます。

6 「プリンターとWi-Fi接続する」 (182) の手順 6 に進み、以降の 操作を行う



- [WPS 機能で接続] で [WPS (PIN 方式)] を選択したときは、画面に表示された PIN コードをアクセスポイントに設定します。次に [接続先の機器の選択] 画面で接続する機器を選びます。詳しくは、お使いのアクセスポイントの使用説明書を参照してください。

パソコンに画像を自動送信する

カメラが自宅など、あらかじめ Wi-Fi 接続設定したアクセスポイントの通信範囲内に置かれたとき、そのアクセスポイントに接続しているパソコンに、カメラ内の画像を自動的に送信するよう設定できます。

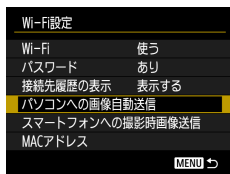
Wi-Fi 接続する



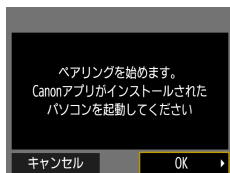
- 1 パソコンをアクセスポイント（Wi-Fi 親機）に接続する
 - パソコンに Image Transfer Utility 2 をインストールしておきます。
- 2 Image Transfer Utility 2 を起動する
- 3 Image Transfer Utility 2 のペアリングを設定する画面を開く
 - はじめて Image Transfer Utility 2 を起動したときは、画面の手順にしたがって操作を行うとペアリングを設定する画面が表示されます。



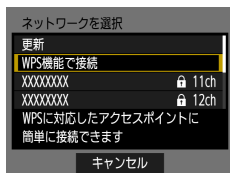
- 4 ④ [無線通信の設定] → [Wi-Fi 設定]



5 [パソコンへの画像自動送信] → [自動送信] → [する]



6 [OK]

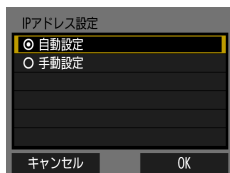


7 [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK]

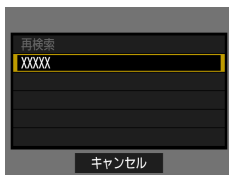


8 WPS 用ボタンを押す

- アクセスポイント (Wi-Fi 親機) の WPS 用ボタンを押すと、カメラとアクセスポイントの接続が行われます。



9 [自動設定] → [OK]



10 パソコンを選ぶ

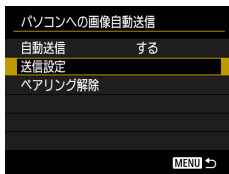
- 自動送信するパソコンを選び、 ボタンを押します。



11 パソコンでペアリングするカメラを選ぶ

- Image Transfer Utility 2 のペアリング画面にカメラのニックネームが表示されます。
- 接続するカメラを選び、[ペアリング] をクリックすると、パソコンとカメラの接続が完了します。

自動送信を設定する



12 送信条件を設定する

- 手順 5 の [パソコンへの画像自動送信] で [送信設定] を選び、送信条件を設定します。

13 カメラの電源を切る

自動送信する

- パソコンをログイン状態にし、アクセスポイントの通信範囲内でカメラの電源を入れると、手順 12 で設定した送信条件で、パソコンにカメラ内の画像を自動送信します。



- 画像の自動送信は、十分残量のあるバッテリーを使用して行ってください。節電機能は動きません。
- 自動送信が完了したあとに撮影した画像は、パソコンに自動送信されません。カメラの電源を入れなおしたときに自動送信されます。
- パソコンへの画像自動送信が始まらないときは、カメラの電源を入れなおしてください。
- 画像の自動送信をしないようにするときは、[パソコンへの画像自動送信] → [自動送信] → [しない] を選びます。

Web サービスへ画像を送る

● 利用する Web サービスの情報を登録する

パソコンまたはスマートフォンを使って、利用する Web サービスの情報をカメラに登録します。

- CANON iIMAGE GATEWAY をはじめとする各種 Web サービスの設定には、インターネットに接続できるパソコンまたはスマートフォンおよびブラウザが必要です。
- CANON iIMAGE GATEWAY に接続する際にお使いいただくブラウザ（Microsoft Internet Explorer など）のバージョンや設定条件については、CANON iIMAGE GATEWAY のサイトで確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY のサービスに対応している国／地域の情報は、弊社 Web サイト（<http://www.canon.com/cig/>）で確認してください。
- CANON iIMAGE GATEWAY での操作や設定については、CANON iIMAGE GATEWAY のヘルプをご確認ください。
- CANON iIMAGE GATEWAY 以外の Web サービスも利用するときは、その Web サービスのアカウントが必要です。詳しくは、各 Web サービスの Web サイトを確認してください。
- プロバイダーとの接続料金、およびプロバイダーのアクセスポイントへの通信料金は、別途かかります。

■ CANON iIMAGE GATEWAY を登録する

CANON iIMAGE GATEWAY とカメラを連携できるように、CANON iIMAGE GATEWAY をカメラに登録します。

アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押しますので、アクセスポイントのそばで接続操作を行ってください。

なお、この設定では、カメラ連携設定をするための通知メールを送りますので、お使いのパソコンやスマートフォンのメールアドレスが必要になります。

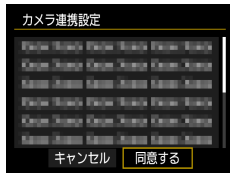
1 (P)ボタンを押す

2 [☁]



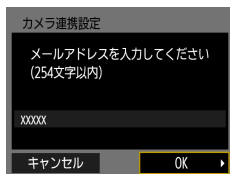
3 メールアドレス入力許諾に同意する

- 表示されている記載を読み、[同意する] を選びます。

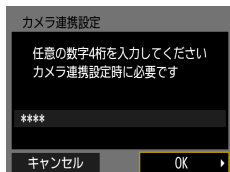


4 アクセスポイントへの接続を始める

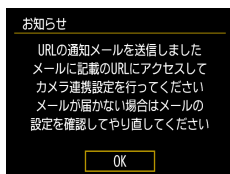
- [WPS 機能で接続] → [WPS (PBC 方式)] → [OK]
- アクセスポイント（Wi-Fi 親機）の WPS ボタンを押します。
- カメラの [IP アドレス設定] 画面で [自動設定] を選びます。



5 メールアドレスを入力する



6 任意の4桁の数字を入力する



7 通知メールが送信されたことを確認する

- [OK]



- [☁] が [☁+] になります。



8 受信した通知メールのURLにアクセスしてカメラ連携の設定をする

- カメラ連携設定ページのご案内にしたがって設定します。



9 [G] を選ぶ

- CANON iMAGE GATEWAY が送信先として追加されます。



- お使いのパソコンまたはスマートフォンのメール設定が、特定ドメインのメールを受信拒否するようになっていると、通知メールを受信できないことがありますので事前に確認してください。

ほかの Web サービスを登録する

CANON iMAGE GATEWAY 以外の Web サービスをカメラに登録します。



1 CANON iMAGE GATEWAY にアクセスして、カメラ連携設定のページを表示する

- <http://www.canon.com/cig/>

2 画面の指示にしたがって利用する Web サービスの設定をする

3 (P) ボタンを押して [G] を選ぶ



- 一度設定した内容を変更するときも、Web サービスをカメラに登録する操作でカメラの設定を更新してください。

Web サービスに画像を送る

1 (P)ボタンを押す



2 接続先を選ぶ

- Web サービスのアイコンを選びます。
- 同じ Web サービスに複数の送信先や公開範囲などがあるときは、送信先の選択画面が表示されるので、項目を選びます。

3 画像を送る

- 送信条件を選び、画像を選んで送信します。
- YouTube へ送信するときは、続いて表示される利用規約を読み【同意する】を選びます。
- 送信が完了したら表示される画面で【OK】が表示されます。(P)ボタンを押すと再生表示の画面に戻ります。



- スマートフォンで CANON iMAGE GATEWAY に送信した画像を見るときは、専用のアプリケーション Canon Online Photo Album を使うことをおすすめします。iPhone や iPad では App Store から、Android のスマートフォンでは Google Play から、Canon Online Photo Album を検索してダウンロードし、インストールしてください。

2 回目以降の Wi-Fi 接続

一度 Wi-Fi 接続して接続設定が登録された機器や Web サービスに、再度 Wi-Fi 接続します。



1 ((P))ボタンを押す

2 履歴から接続先を選ぶ

- 接続先が表示されていないときは◀/▶ボタンを押して画面を切り換えます。
- Web サービスのときは、接続が完了します。

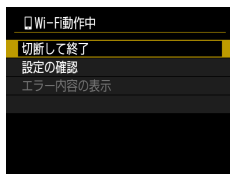
3 接続先の機器を操作する

- 画面の指示にしたがい、接続先の機器を操作します。

Wi-Fi 接続を終了する

1 (P)ボタンを押す

2 [切断して終了] → [OK]



Bluetooth でペアリングしている機器 の登録を解除する

ほかのスマートフォンとペアリングするときは、接続しているスマートフォンの登録を解除します。



- 1  [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能]
- 2 [接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、INFO ボタンを押す
- 3 スマートフォンを操作する
 - OS の Bluetooth 設定画面からカメラの登録を解除します。

接続設定を変更／削除する

カメラに保存されている接続設定の変更や削除を行います。接続設定の変更や削除は、Wi-Fi 接続を終了してから操作します。

1 ボタンを押す

2 項目を選ぶ

- 左の画面が表示されたら / ボタンを押して画面を切り換えます。



- 左の画面から、接続設定の変更や削除を行う項目を選びます。



3 [接続先の機器の編集] を選ぶ

- 表示される画面で接続設定を変更する機器を選び、ニックネームの変更などを行います。

機能設定

カメラの基本機能を変えることで、カメラをより使いやすくなります。

- メニューの🔧タブや★タブで設定します。ふだん使う上での便利な機能を自分好みに設定することができます。
- **P**モードを前提に説明しています。

フォルダを選択／作成する

画像を保存するフォルダを選択したり、新しく作成することができます。フォルダ選択画面で「フォルダ作成」を選ぶと、新しいフォルダを作成できます。



1 フォルダ選択



2 設定する

- フォルダの選択：フォルダを選ぶ
- フォルダの作成：「フォルダ作成」→「OK」



- フォルダ名は、「100CANON」のように先頭3桁の数字（フォルダ番号）と、5文字の英数字で構成されています。
- フォルダは100～999まで作成することができます。

画像番号を変える

撮影した画像には、撮影した順に 0001 ～ 9999 の番号がつけられ、1 つのフォルダに 9999 枚ずつ保存されます。この画像番号のつけかたを変えることができます。



1 【画像番号】 → 【番号の付け方】 または 【強制リセット】

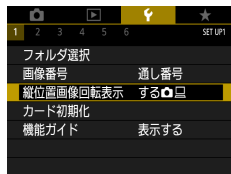
通し番号	画像番号 9999 の画像が撮影／保存されるまでは、カードやフォルダを変えて撮影しても連番になります。
オートリセット	カードを変えたり、フォルダが新しく作られたときは、画像番号が 0001 に戻ります。
強制リセット	新しくフォルダを作成し、画像番号 0001 から始まります。



- 【通し番号】【オートリセット】とも、変えるカードに画像が入っているときは、その画像番号の続き番号になることがあります。画像番号 0001 の画像から順に保存したいときは、初期化したカードをお使いください。

縦位置画像の自動回転表示を設定する

縦位置で撮影した画像を再生または表示するときの自動回転の設定を変更することができます。



1 [縦位置画像回転表示]

する	カメラとパソコンで見るときに自動回転します。
する	パソコンで見るときだけ自動回転します。
しない	自動回転しません。

カードを初期化する

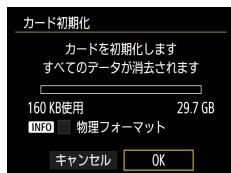
新しく買ったカードやほかのカメラやパソコンで初期化したカードは、このカメラで初期化（フォーマット）することをおすすめします。

また、カメラが正しく動作しない、カードへの画像記録／再生時の読み出しや連続撮影速度が遅くなった、動画撮影が途中で止まるなどのときは、物理フォーマットを行うことで解消することがあります。

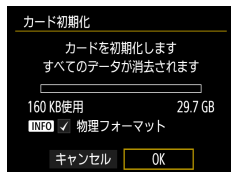
初期化、または物理フォーマットをするとカード内のすべてのデータは消され、元に戻すことはできません。



1 レンチ [カード初期化]



- 初期化する：[OK]



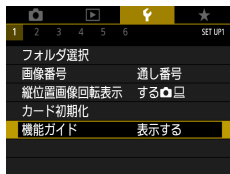
- 物理フォーマットをする：INFOボタンで [✓] をつける→ [OK]



- カード内のデータは、初期化や消去をしてもファイル管理情報が変わるだけで、完全には消えません。カードを譲渡や廃棄するときはカードを破壊するなどして、個人情報の流出を防いでください。
- 初期化の画面で表示されるカードの総容量は、カードに表記されている容量よりも少なくなることがあります。
- 物理フォーマットはカード内の全記憶領域を初期化するため、カードの初期化よりも時間がかかります。
- 物理フォーマット中に［キャンセル］を選ぶと、初期化を中止できます。中止してもデータはすべて消去されますが、カードは問題なく使えます。

機能ガイドを設定する

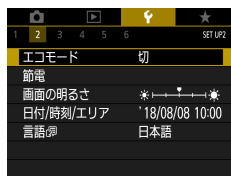
クイック設定画面で項目を選んだとき、機能の説明を表示するかどうかを設定できます。



1 [機能ガイド]

エコモードを使う

撮影モードでのバッテリーの消耗をおさえる機能です。カメラを操作していないときに画面が暗くなり、消費電力がおさえられます。



1 [エコモード]

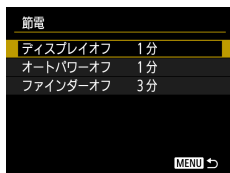
入	カメラを操作しないと約 2 秒後に画面が暗くなり、その約 10 秒後に画面が消えます。約 3 分後には電源が切れます。画面が消えている状態でもレンズが出ているときは、シャッターボタンを半押しすると画面が表示され、撮影できます。
切	エコモードをしません。

節電機能の設定を変える

自動で電源をオフにしたり（オートパワーオフ）、画面を消したり（ディスプレイオフ）、ファインダーの表示が消える（ファインダーオフ）までの時間を変えることができます。



1 [節電]



2 設定する



- バッテリーの消耗を防ぐため、通常は、[節電] → [ディスプレイオフ] と [オートパワーオフ] を [1 分] 以下にすることをおすすめします。
- [ディスプレイオフ] は、[オートパワーオフ] が [しない] のときも働きます。
- エコモードを [入] にしているときは、[ディスプレイオフ] と [オートパワーオフ] は使えません。

画面の明るさを変える

ファインダーとモニターの画面の明るさを変えられます。ファインダーの画面の明るさは、ファインダーをのぞくと変えられます。



1 [画面の明るさ]



2 設定する

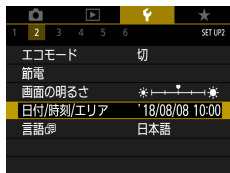
- ◀/▶ボタン→ボタン



- 撮影画面や再生表示で 1 枚表示のときに **INFO** ボタンを 1 秒以上押したままにすると、画面が最高の明るさになります（ [画面の明るさ] 設定は無効になります）。もう一度 **INFO** ボタンを 1 秒以上押したままにするか、電源を入れなおすと、元の明るさに戻ります。

日付／時刻／エリアを変更する

日付／時刻を、現在の設定から変えられます。



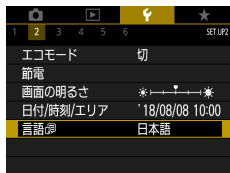
1 [日付／時刻／エリア]

2 設定する

- 「日付／時刻／エリアと言語を設定する」
(24) の手順 2～3 の操作で設定します。

言語を変更する

言語を、現在の設定から変えられます。



1 [言語]

2 設定する

- ▲/▼ボタンで言語を選ぶ→ボタン

ビデオ方式を設定する

テレビの映像方式を設定します。この設定に応じて、動画で選べる画質（フレームレート）が変わります。



1 [ビデオ方式]

NTSC	テレビの映像方式が「NTSC」地域（北米、日本、韓国、メキシコなど）のときに設定します。
PAL	テレビの映像方式が「PAL」地域（ヨーロッパ、ロシア、中国、オーストラリアなど）のときに設定します。

電子音の設定を変える

シャッターボタンを半押ししたときやセルフタイマーなどの電子音を鳴らすかどうか設定できます。



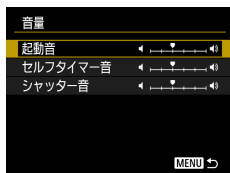
1 1 [電子音]

音量を変える

カメラの各種動作音の音量を変えられます。



1 音量 [音量]



2 設定する

- (M/SET) ボタン → ◀▶ ボタン

HDMI 出力時の解像度を設定する

カメラとテレビや外部記録機器などを HDMI ケーブルで接続し、カメラに記録されている映像を出力するときに、解像度を設定することができます。



1 [HDMI 出力解像度]

自動	接続したテレビに合わせて、自動的に最適な解像度で画像が表示されます。
1080p	1080p の解像度で出力します。解像度が切り換わる時の表示や時間が気になるときに選びます。

ズームボタンの機能を変える

ズームボタンで操作できる機能を変えることができます。



1 [ZOOM] ボタンの機能

低速ズーム	低速でズームします。
高速ズーム	高速でズームします。
MF時 距離設定	マニュアルフォーカスでピントを合わせるとき、ピント位置を設定します。

AF フレーム選択ボタンと AE ロックボタンを入れ換える

ボタンと ボタンの機能を入れ換えることができます。

1	2	3	4	5	6	SET UP3
ビデオ方式	NTSC					
電子音	入					
音量						
HDMI出力解像度	自動					
ボタンの機能	低速ズーム					
と ボタンの入換	しない					

1 と ボタンの入換] → [する]

撮影時の情報の表示内容を設定する

撮影時にモニターまたはファインダーに表示する画面や情報などをカスタマイズすることができます。ヒストグラムの種類や、グリッドを設定することもできます。



1 撮影情報表示設定 → 撮影情報表示カスタマイズ



2 ▲／▼ボタンを押して画面を選ぶ

- 非表示にする画面は、**INFO**ボタンを押して[✓]を外します。
- **INFO**ボタンを押すと画面の編集ができます。



3 画面を編集する

- ▲／▼ボタンで項目を選びます。
- **INFO**ボタンで、表示する項目に[✓]を入れます。
- **[OK]**を選ぶと設定されます。



- 撮影情報表示設定 → [グリッド] で、より細かいグリッドに変えることができます。
- 撮影情報表示設定 → [ヒストグラム] で、表示するヒストグラムを、輝度ヒストグラムから RGB ヒストグラムに変えたり表示サイズを変えることができます。
- [AF 方式] が [AF 追従] のときは、水準器は表示されません。

撮影画面表示の優先項目を設定する

静止画撮影時の撮影画面表示で、優先する項目を選ぶことができます。

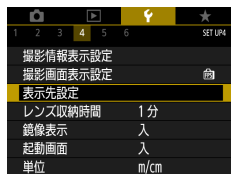


1 [撮影画面表示設定]

省電力優先	電力消費を抑えて画面を表示します。
なめらかさ優先	動きの速い被写体もなめらかに表示します。

画面の表示先を設定する

撮影画面の表示先を選ぶことができます。



1 [表示先設定] → [表示先切り換え]

オート	通常はモニター表示を行い、ファインダーをのぞくとファインダー表示に切り換わります。
マニュアル	[マニュアル表示先] で、モニター表示のみ、またはファインダー表示のみを選ぶことができます。

レンズ収納時間を変える

撮影状態から ボタンを押して約 1 分経過すると、安全のためレンズが収納されます。 ボタンを押すとすぐにレンズが収納されるようにしたいときは、収納時間を [0 秒] に設定します。

1	2	3	4	5	6	SET UP4
撮影情報表示設定						
撮影画面表示設定						
表示先設定						
レンズ収納時間						1 分
鏡像表示						入
起動画面						入
単位						m/cm

1 [レンズ収納時間]

鏡像表示の設定を変える

撮影モードで画面を開き、画面をレンズ側に向けた際に、画像が鏡像（左右反転）で表示されるようにするかどうかを設定できます。



1 [鏡像表示]

起動画面の表示を設定する

電源を入れたときの起動画面を表示するかどうかを設定できます。



1 [起動画面]

距離表示の単位を変える

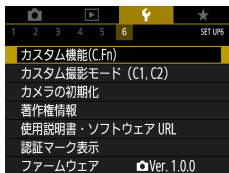
ズームバー (📖 74)、MF インジケーター (📖 84) などの表示単位を、m/cm から ft/in (フィート/インチ) に変えることができます。



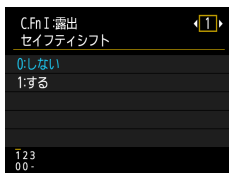
1 [単位]

カメラの詳細機能を設定する

カメラの詳細機能を変えることができます。



1 カスタム機能 (C.Fn)]



2 項目を選ぶ

- ◀/▶ボタン → ④ボタン

3 設定する

C.Fn I：露出 セーフティシフト	[1: する] に設定すると、 Tv ／ Av モードで設定したシャッタースピードや絞り数値で標準露出が得られないとき、標準露出に近づけるように自動的にシャッタースピードや絞り数値が変更されるようになります。
C.Fn II：その他 Tv/Av 値設定時の ダイヤル回転	シャッタースピードや絞り数値を増減させるための ダイヤルの回転方向を変えることができます。
C.Fn II：その他 操作ボタン カスタマイズ	シャッターボタンなどの操作ボタンの機能を変えることができます。



- [カスタム機能 (C.Fn)] で設定した機能 ([操作ボタン カスタマイズ] の設定以外) を初期状態に戻すときは、 [カメラの初期化] → [基本以外の設定] → [カスタム機能 (C.Fn)] → [OK] を選びます。

● 操作ボタンをカスタマイズする

シャッターボタンなどの操作ボタンの機能を変えることができます。

【*】(AE ロックボタン) と 【】 (フレーミングアシスト-固定ボタン) の設定は、**P/Tv/Av/M/C1/C2**モードのときに有効です。
 【】 (シャッターボタン半押し) と 【】 (動画撮影ボタン) の設定は、**P/Tv/Av/M/C1/C2**モードのときに有効です。



1 [C.Fn II：その他 操作ボタン カスタマイズ]



2 ボタンを選ぶ



3 機能を選ぶ



- [操作ボタン カスタマイズ] の設定を初期状態に戻すときは、📷 [カメラの初期化] → [基本以外の設定] → [操作ボタン カスタマイズ] → [OK] を選びます。

カスタム撮影モード (C1 / C2 モード)

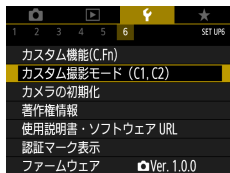
よく使う撮影モードと、自分好みに設定した各機能の設定を登録することができます。登録された設定へは、モードダイヤルを**C1**/**C2**にするだけで、切り換えることができます。また、撮影モードを切り換えたり、電源を切ったりすると解除されてしまう設定も記憶します。

登録できる設定

- 撮影モード (**P**/**Tv**/**Av**/**M**)
- **P**/**Tv**/**Av**/**M**モードで設定できる機能（一部の機能を除く）
- ズーム位置
- マニュアルフォーカス位置 (📖 84)

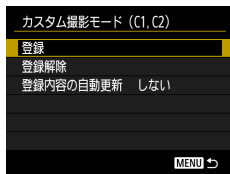
1 登録したい撮影モードにして、各種機能を設定する

2 📷 [カスタム撮影モード (C1, C2)]



3 [登録]

- 登録するカスタム撮影モードを選びます。

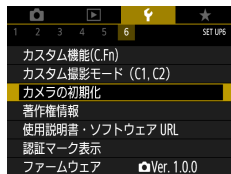




- 一度登録した、設定の一部（撮影モード以外）を変えるときは、**C1/C2**を選んで設定を変え、もう一度 [カスタム撮影モード (C1, C2)] → [登録] を選びます。この設定内容は、他の撮影モードには反映されません。
- 登録した設定を初期状態に戻すときは、 [カスタム撮影モード (C1, C2)] → [登録解除] を選んだあと、カスタム撮影モードを選びます。
- [カスタム撮影モード (C1, C2)] → [登録内容の自動更新] → [する] に設定すると、**C1/C2**モードで撮影しているときに、設定変更した内容を登録内容に自動反映することができます。

カメラの設定を初期状態に戻す

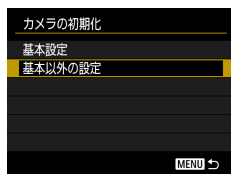
P/Tv/Av/M/☐モードのときにカメラの設定を初期状態に戻すことができます。



1 1 [カメラの初期化]



- 基本設定を初期化する：[基本設定] → [OK]



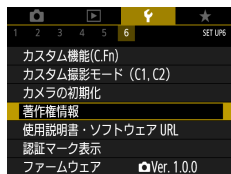
- 基本以外の設定を初期化する：[基本以外の設定] → 項目を選ぶ → [OK]



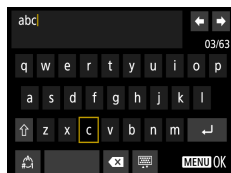
- [言語] や [日付 / 時刻 / エリア] などの基本的な設定は初期状態に戻りません。

画像に記録する著作権の情報を登録する

作成者名や著作権者名を登録しておくと、撮影した画像に記録できます。



- 1 [著作権情報] → [作成者名入力]
または [著作権者名入力]



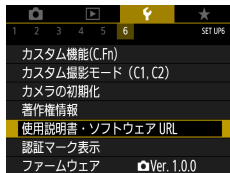
- 名前を入力→MENUボタン→ [OK]



- 入力した内容は、 [著作権情報] → [著作権情報の表示] で確認できます。
- 登録されている作成者名と著作権者名は、 [著作権情報] → [著作権情報の消去] でまとめて消せますが、画像に記録されている著作権情報は消されません。

QR コードから使用説明書やソフトウェアをダウンロードする

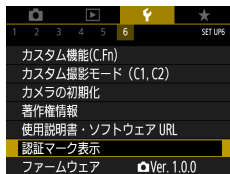
使用説明書とソフトウェアをダウンロードするためのアクセス用 QR コードをカメラの画面に表示できます。



1 [使用説明書・ソフトウェア URL]

認証マークを表示する

このカメラが対応している認証マークの一部は、画面に表示して確認できます。



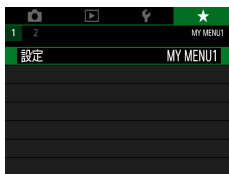
1 [認証マーク表示]

よく使う撮影メニューを登録する（マイメニュー）

よく使う撮影メニューの項目を、★タブに 6 項目まで登録できます。★タブに登録すると、項目を 1 つの画面で表示できるため、素早く設定を変えられます。



1 ★ [マイメニュータブの追加] → [OK]



2 [設定]



3 [登録項目の選択]

- 項目を選ぶ → [OK]
- 選んだ項目がマイメニュータブに登録されます。



項目の表示順を変えるとき

- [登録項目の並び替え] → 表示順を変えた項目を選ぶ → ▲/▼ ボタンで表示順を変える → (SE) ボタン



- マイメニュータブは [★ 5] まで追加することができます。
- 追加したマイメニュータブの登録項目を選択する画面で、項目が灰色になっていても設定はできますが、撮影モードによっては使えないことがあります。
- 追加したマイメニュータブで [設定] → [タブ内の全項目削除] → [OK] を選ぶと、タブに登録したすべての項目が削除されます。

● マイメニュータブのタブ名を変える

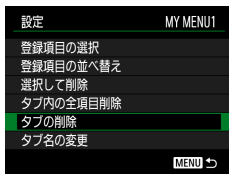


1 [タブ名の変更]

2 タブ名を変更する

- タブ名を入力 → MENU ボタン → [OK]

● マイメニュータブを削除する



1 [タブの削除]

● マイメニュータブをすべて削除する



1 ★ [マイメニュータブの全削除]

● 登録項目をすべて削除する



1 ★ [全項目削除]

● マイメニューの表示方法を変える

撮影モードでMENUボタンを押したときに表示する画面を設定することができます。



1 ★ [メニュー表示]

通常表示	前回の操作で最後に表示していたメニュー画面が表示されます。
マイメニュータブから表示	★タブの画面から表示されます。
マイメニュータブのみ表示	★タブの画面だけが表示されます。

アクセサリ

別売りのアクセサリや市販の対応機器を使って、カメラの楽しみかたを広げることができます。

■ アクセサリはキヤノン純正品のご使用をおすすめします

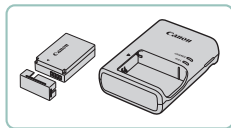
本製品は、キヤノン純正の専用アクセサリと組みあわせてお使いになった場合に最適な性能を発揮するように設計されておりますので、キヤノン純正アクセサリのご使用をおすすめいたします。

なお、純正品以外のアクセサリの不具合（例えばバッテリーパックの液漏れ、破裂など）に起因することが明らかな、故障や発火などの事故による損害については、弊社では一切責任を負いかねます。また、この場合のキヤノン製品の修理につきましては、保証の対象外となり、有償とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

別売アクセサリ

必要に応じてお買い求めの上、ご利用ください。なお、アクセサリは、諸事情により予告なく販売を終了することがあります。また、地域によってはお取り扱いがないことがあります。

● 電源



バッテリーパック LP-E12

- 充電式のリチウムイオン電池です。

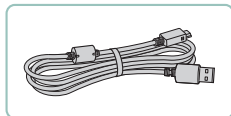
バッテリーチャージャー LC-E12 シリーズ

- バッテリーパック LP-E12 用のバッテリーチャージャーです。



- バッテリーチャージャーは、AC 100 - 240 V 50/60 Hz の地域で使えます。
- プラグの形状が合わないときは、市販の電源プラグ変換アダプターを使ってください。なお、海外旅行用の電子式変圧器は故障の原因になりますので絶対に使わないでください。

● その他



インターフェースケーブル IFC-600PCU

- パソコンやプリンターとカメラをつなぐケーブルです。



ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1

- Bluetooth 対応のワイヤレスリモコンです。



リモートスイッチ RS-60E3

- カメラから離れてシャッターボタンの半押しと全押しができるリモートスイッチです。



レンズフード LH-DC90

- 画面外から不要な光がレンズに入らないようにして、画質劣化の原因となるフレアやゴーストを防ぎます。



フィルターアダプター FA-DC67A

- 67 mmのフィルターを取り付けるためのアダプターです。
ズーム撮影時も使用可能です。

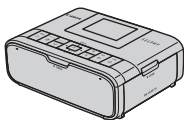
キャノン製レンズフィルター (ϕ 67 mm)

- レンズを保護したり、さまざまな効果をつけて撮影できます。



- レンズフィルターをレンズに直接取り付けることはできません。取り付けにはフィルターアダプターが必要です。
- レンズフィルターを装着すると、同梱のレンズキャップを取り付けることはできません。
- レンズフードとフィルターアダプターを同時に取り付けることはできません。

● プリンター



キャノン製 PictBridge 対応プリンター

- プリンターをつなぐと、パソコンを使わずに撮影した画像を印刷できます。

別売アクセサリーの使いかた

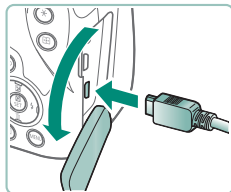
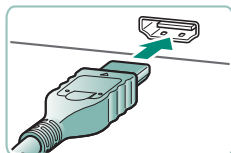
● テレビで見る

市販の HDMI ケーブル（長さ 2.5m 以下、カメラ側端子はタイプ D）でカメラと HD 対応テレビをつないでカメラを操作すると、撮影した画像をテレビで見ることができます。また、カメラの画面表示をテレビに表示して撮影できます。

なお、お使いになるテレビとのつながりかたや入力の切り換えかたについては、テレビの使用説明書を参照してください。

1 カメラとテレビの電源を切る

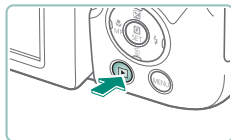
2 カメラとテレビをつなぐ



3 テレビの電源を入れ、テレビの入力切り換えで接続した端子を選ぶ

4 再生表示にする

- 画像がテレビに表示されます（カメラの画面には何も表示されません）。

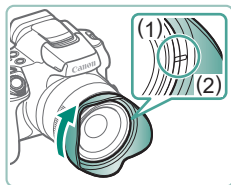




- テレビに表示しているときは、一部の情報が表示されないことがあります。
- HDMI 出力中に 4K 動画とハイビジョン画質の動画を切り換えたり、異なるフレームレートの動画に切り換えると、次の画像が表示されるまでに時間がかかることがあります。

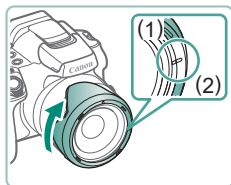
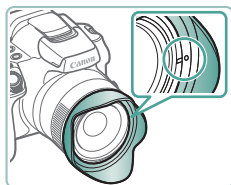
● レンズフード（別売）を使う

レンズフード LH-DC90（別売）を使うと、ストロボを使わずに広角側で逆光時に撮影するとき、画角外の光がレンズに入ることを防ぐことができます。



1 レンズフードを取り付ける

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- カメラの取り付け部 (1) とフードの内側の切り欠き (2) をあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回します。
- 取り外すときは、反対方向に回します。



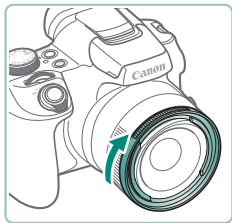
- フードを使わないときは、図の向きにして、カメラの取り付け部 (1) とフードの外側の切り欠き (2) をあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回して取り付けます。



- フードを取り付けた状態でストロボを使うと、ストロボ光がケラれて、画像の一部が暗くなることがあります。
- フードとフィルターアダプターをカメラへ一緒に取り付けることはできません。

● レンズフィルター（別売）を使う

レンズフィルターを付けると、レンズを保護したり、さまざまな効果をつけて撮影できます。カメラに取り付けるときは、別売のフィルターアダプター FA-DC67A が必要です。



1 フィルターアダプターを取り付ける

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- カメラの取り付け部とフィルターの切り欠きをあわせてから、ロックするまで矢印の方向に回します。
- 取り外すときは、反対方向に回します。



2 フィルターを取り付ける

- フィルターを矢印の方向に回して取り付けます。
- 取り付けるときは強くねじ込まないでください。取り外しできなくなったり、故障の原因になることがあります。



- キヤノン純正のフィルター（φ 67 mm）のご使用をおすすめします。
- オートフォーカスで撮影するか、マニュアルフォーカスで〔セーフティ MF〕を〔入〕にして撮影してください。
- フィルターアダプターを取り付けているとき、ストロボを使用すると、ストロボ光がケラれて画像の一部が暗くなることがあります。
- フィルターアダプターには、フィルター 1 枚のみが取り付けられます。複数のフィルターを取り付けると、脱落したり、カメラやフィルターアダプターの故障の原因になることがあります。
- フィルターアダプターを強くにぎらないでください。
- フィルターを使わないときは、フィルターアダプターを外してください。
- フードとフィルターアダプターをカメラへ一緒に取り付けることはできません。

● リモコン撮影する

ワイヤレスリモートコントローラー BR-E1（別売）を使って、撮影することができます。

ワイヤレスリモートコントローラーの使用説明書もあわせて参照してください。



1 ペアリングする

- 無線通信の設定 → [Bluetooth 機能] → もう一度 [Bluetooth 機能] → [リモコン] → [ペアリング]

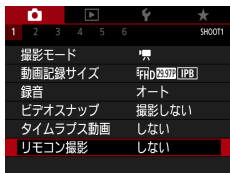
2 BR-E1 の W ボタンと T ボタンを同時に 3 秒以上押す

- ペアリングが行われます。

3 リモコン撮影できるように設定する

- 静止画撮影：[ON] ボタン → [OFF] → [ON]





- 動画撮影: モード → [リモコン撮影] → [する]

4 撮影する

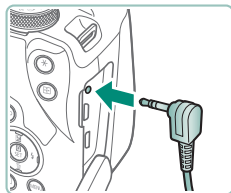
- 動画撮影は、リモコンの撮影タイミング／動画撮影切り換えスイッチを の位置にして、リリースボタンを押します。



- オートパワーオフを 1 分に設定していても、約 2 分でオートパワーオフになります。
- ペアリングを解除するときは、 [無線通信の設定] → [Bluetooth 機能] → [接続先情報の確認 / 登録解除] を選び、**INFO** ボタンを押してください。

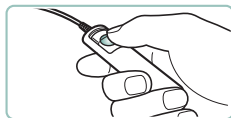
● リモートスイッチ（別売）を使う

リモートスイッチ RS-60E3（別売）を使うと、シャッターボタンを押すときに発生するカメラのブレを防ぐことができます。シャッタースピードが遅くなるときにお使いになると便利です。



1 リモートスイッチをつなぐ

- カメラの電源が切れていることを確認します。
- 端子カバーを開けて、リモートスイッチのプラグを差し込みます。

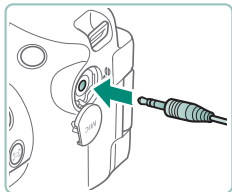


2 撮影する

- カメラの電源を入れて、リモートスイッチのリリースボタンを押して撮影します。

● 外部マイクを使う

外部マイク入力端子 (📖 30) に、ミニプラグ (φ 3.5 mm) を備えた市販のマイクをつなぐと、外部マイクで録音されます。なお、外部マイクをつないだときは、内蔵マイクによる録音はされません。



1 ふたを開けて、外部マイクをつなぐ

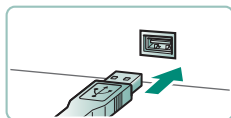
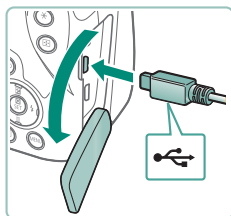


- アッテネーターを使うと、外部マイクにも設定が反映されます。
- 外部マイクをつないだときは、[ウィンドカット] は [切] に固定されます。

画像をパソコンに取り込む

パソコンにインターフェースケーブル IFC-600PCU（別売）や市販の USB ケーブル（カメラ側端子は Micro-B）でカメラをつなぐと、撮影した画像をパソコンへ取り込むことができます。パソコンとのつなぎ方については、パソコンの使用説明書を参照してください。

- 1 カメラの電源を切る
- 2 カメラとパソコンをつなぐ



- 3 カメラの電源を入れる
- 4 画像を取り込む
 - パソコンに標準でインストールされているソフトウェアや汎用のソフトウェアを使って、画像を取り込みます。

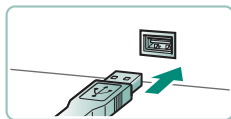
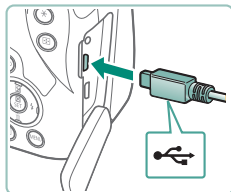
印刷する

PictBridge (ピクトブリッジ) 対応プリンターに市販の USB ケーブル (カメラ側端子は Micro-B) でカメラをつなぐと、撮影した画像を印刷することができます。

ここでは、キヤノン製コンパクトフォトプリンター SELPHY CP シリーズを使って説明しています。プリンターによっては表示される画面やできることが異なります。プリンターの使用説明書もあわせて参照してください。

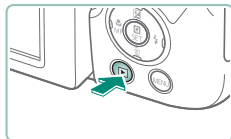
1 カメラとプリンターの電源を切る

2 カメラとプリンターをつなぐ



3 プリンターの電源を入れる

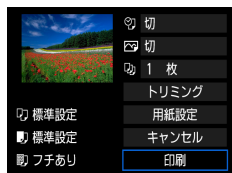
4 再生表示にして画像を選ぶ





5 印刷画面を表示する

-  ボタン → [この画像を印刷]



6 [印刷]

付録



日ごろの取り扱いについて

- カメラは精密機器です。落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
- カメラを磁石やモーターなどの、強力な磁場を発生させる装置の近くに、絶対に置かないでください。電磁波により、カメラが誤作動したり、記録した画像が消えたりすることがあります。
- カメラやモニターに水滴や汚れがついたときは、眼鏡拭きなどのやわらかい布で拭き取ってください。ただし、強くこすったり、押したりしないでください。
- 有機溶剤を含むクリーナーなどでは、絶対にカメラやモニターを拭かないでください。
- レンズにゴミがついているときは、市販のブロアーで吹き飛ばすだけにしてください。汚れがひどいときは、修理受付窓口にご相談ください。
- バッテリーはビニール袋などに入れて保管してください。また、バッテリーの性能を維持するために、長期間使わないときは 1 年に 1 回程度充電し、使い切ってから保管してください。

故障かな？と思ったら

「カメラが故障したのかな？」と考える前に、次の例を参考に確認してください。ただし、問題が解決しないときは、修理受付窓口へご相談ください。

■ 電源

電源ボタンを押してもカメラが動作しない

- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。

バッテリーの消耗が早い

- 低温下ではバッテリー性能が低下します。バッテリーの端子部が他の金属にふれないようにして、ポケットなどで温めてからお使いください。
- バッテリーの端子が汚れているとバッテリー性能が低下します。綿棒などで端子を拭き、バッテリーを数回入れなおしてください。
- 上記を確認しても、充電したのにすぐ使えなくなるときはバッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

バッテリーがふくらむ

- バッテリー特性のため安全上は問題ありません。ただし、バッテリーがふくらむことでカメラに入らなくなったときは、修理受付窓口へご相談ください。

■ 撮影

撮影できない

- 再生表示のときは、シャッターボタンを半押ししてください。

撮影中の画面表示がおかしい

- 次のときは、静止画には記録されませんが、動画には記録されます。注意してください。
 - 蛍光灯やLEDなどの照明下で撮影すると、画面がちらついたり横帯が表示されたりすることがあります。

動画の撮影や再生が途中で止まる

- [4k 29.97P] [4k 25.00P] は、UHS-I (UHS スピードクラス 3) 対応のカードをお使いください。

[🔋] が表示されて自動的に電源が切れる

- 長時間撮影したり、高温下で撮影すると、もうすぐ電源が自動的に切れることを示す [🔋] が表示されます。そのときは、電源を切って、カメラ内部の温度が下がるまで待ってください。

連続撮影の速度が極端に遅くなる

- 高温下で連続撮影すると、速度が極端に遅くなることがあります。そのときは、電源を切って、カメラ内部の温度が下がるまで待ってください。

画像がボケて撮影される

- 意図しない機能（マクロ撮影など）が設定されていないか確認してください。
- AF ロックで撮影してください。

シャッターボタンを半押ししても、AF フレームが表示されずピントが合わない

- 被写体の明暗差がある部分を画面中央にしてシャッターボタンを半押しするか、半押しを何度か繰り返すと AF フレームが表示され、ピントが合うことがあります。

被写体が暗すぎる

- 露出補正で明るさを補正してください。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください。

被写体が明るすぎる（白トビする）

- 露出補正で明るさを補正してください。
- AE ロックまたはスポット測光で撮影してください。
- 被写体に当たっている照明を弱めてください。

ストロボが光ったのに暗い画像になる

- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください。
- ISO 感度を高くしてください。

ストロボ撮影した画像の被写体が明るすぎる（白トビする）

- 調光補正量や発光量で明るさを補正してください。

■ 動画撮影

被写体がゆがんで見える

- 撮影中に被写体がカメラの前を素早く横切ったときは、ゆがんで見えることがあります。

■ Wi-Fi

⓪ボタンを押しても Wi-Fi メニューを表示できない

- カメラをプリンターまたはパソコンとケーブルでつないでいるときは Wi-Fi メニューは表示できません。ケーブルを外してください。

アクセスポイントに接続できない

- アクセスポイントが、カメラの対応チャンネルで通信していることを確認してください。また、アクセスポイントのチャンネル選択が自動のときは、カメラが対応するチャンネルのいずれかに手動で固定することをおすすめします。なお、カメラの対応チャンネルは、弊社 Web ページでご確認ください。

画像の送信に時間がかかる／無線接続が切断されてしまう

- Wi-Fi の電波状態が悪くなるため、電子レンジなど、2.4 GHz 帯の周波数を使用する機器の近くでは使用しないでください。
- 本製品と接続先の機器（アクセスポイントなど）を近づけて、その間に物を置かないでください。

スマートフォンと Bluetooth 接続ができない

- [Bluetooth 機能] → [Bluetooth 機能] → [リモコン] に設定してワイヤレスリモートコントローラー BR-E1 を使用しているときは、スマートフォンと Bluetooth 接続することはできません。

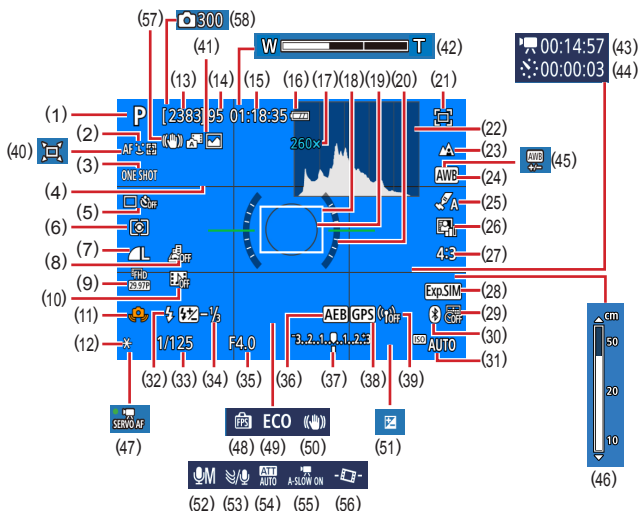
■ エラー表示

エラー番号（Errxx）と原因・対処方法が表示される

- カメラに異常が発生すると表示されます。問題が解決しないときは、エラー番号（Errxx）を控えて、修理受付窓口へご相談ください。
- 無線機能に関するエラーは、📶 [無線通信の設定] → [Wi-Fi 機能] の画面の右上に、エラー番号（Errxx）が表示されます。INFOボタンを押すと、情報表示の画面でエラーの内容が表示されます。

画面の表示内容一覧

撮影時

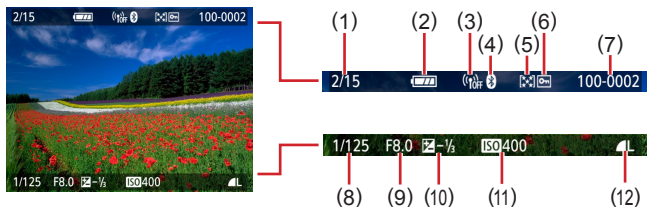


- | | |
|---------------------|----------------|
| (1) 撮影モード、シーンアイコン | (9) 動画記録サイズ |
| (2) AF 方式 | (10) ビデオスナップ |
| (3) AF 動作 | (11) 手ブレ警告 |
| (4) グリッドライン | (12) AE ロック |
| (5) ドライブモード／セルフタイマー | (13) 撮影可能枚数 |
| (6) 測光モード | (14) 連続撮影可能枚数 |
| (7) 記録画質 | (15) 動画撮影可能時間 |
| (8) ジオラマ風動画 | (16) バッテリー残量表示 |



- (17) ズーム倍率、デジタルテレコンバーター
- (18) AF フレーム
- (19) スポット測光枠
- (20) 水準器
- (21) フレーミングアシスト - 固定
- (22) ヒストグラム
- (23) フォーカスゾーン
- (24) ホワイトバランス
- (25) スタイル設定
- (26) オートライティングオブティマイザ
- (27) 静止画アスペクト比
- (28) 露出 Simulation
- (29) 日付写し込み
- (30) Bluetooth 通信状態
- (31) ISO 感度
- (32) ストロボモード
- (33) シャッタースピード
- (34) ストロボ調光補正／発光量
- (35) 絞り数値
- (36) AEB 設定
- (37) 露出レベル表示
- (38) Bluetooth スマートフォン連携
GPS 情報取得状態
- (39) Wi-Fi 通信状態
- (40) ロオート
- (41) プラスムービーオートモード／ダイジェスト形式
- (42) ズームバー
- (43)  撮影所要時間
- (44)  撮影間隔
- (45) ホワイトバランス補正
- (46) MF インジケーター
- (47) 動画サーボ AF
- (48) 撮影画面表示設定
- (49) エコモード
- (50) 手ブレ補正
- (51) 露出補正
- (52) 録音モード
- (53) ウィンドカット
- (54) アッテネーター
- (55)  オートスローシャッター
- (56) 自動水平補正
- (57) マルチシーン IS
- (58)  撮影回数

再生時



(1) 再生画像／対象画像数

(2) バッテリー残量

(3) Wi-Fi 通信状態

(4) Bluetooth 通信状態

(5) レーティング

(6) 保護

(7) フォルダ番号 - 画像番号

(8) シャッタースピード

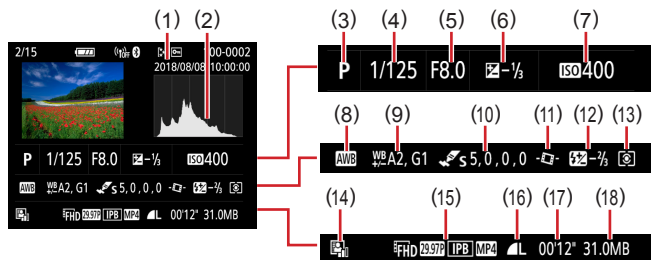
(9) 絞り数値

(10) 露出補正量

(11) ISO 感度

(12) 記録画質*

*リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に と表示されます。また、トリミングした画像では と表示されます。



- | | |
|-----------------|-----------------------|
| (1) 撮影日時 | (10) スタイル設定内容 |
| (2) ヒストグラム | (11) 自動水平補正 |
| (3) 撮影モード | (12) 調光補正量 |
| (4) シャッタースピード | (13) 測光モード |
| (5) 絞り数値 | (14) オートライティングオブティマイザ |
| (6) 露出補正量 | (15) 動画記録サイズ |
| (7) ISO 感度 | (16) 記録画質* |
| (8) ホワイトバランス | (17) 動画記録時間 |
| (9) ホワイトバランス補正量 | (18) ファイルサイズ |

*リサイズ、トリミング、赤目補正を行った画像に と表示されます。また、トリミングした画像では と表示されます。

無線機能について

- 本製品のうち、外国為替および外国貿易法により規制されている貨物または技術に該当するものを外国へ輸出（外国への持ち出し、国内における非居住者への開示を含む。）する場合、必要に応じ日本政府の輸出許可または役務取引許可を受ける必要があります。
- 本製品には、米国製暗号化品目が搭載されているため、米国輸出管理規制（EAR）の対象となり、米国禁輸国への輸出や持ち出しはできません。
- ご使用になる Wi-Fi の設定については、必ず控えを取ってください。本製品に登録した無線機能の設定は、誤操作、電波や静電気の影響、事故、故障などによって変質したり消失したりする場合があります。弊社の責によらずに内容の変質や消失が生じた結果による、直接または間接の損害および逸失利益について、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本製品を譲渡、廃棄、または修理の依頼をするときは無線機能の設定を初期化（消去）してください。
- 紛失や盗難などによる損害の補償はいたしかねます。紛失や盗難などによって、本製品に登録されている接続先への不正アクセス・利用がされるなどの結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載している使用方法をお守りください。本製品の無線機能は、この使用説明書に記載している範囲内でお使いください。それ以外の用途や用法で使用した結果、被害や損害が発生しても、弊社では一切の責任を負いかねます。

● セキュリティについて

Wi-Fi は電波を使って通信するため、LAN ケーブルを使う有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

Wi-Fi をお使いになるときは、次の点に注意してください。

- 使用権限があるネットワークだけを使う

本製品は、周辺の Wi-Fi ネットワークを検索して画面に表示します。そのため、使用する権限がない（知らない）ネットワーク名も表示されることがあります。しかし、それらのネットワークに接続しようとしたり接続して利用したりすると、不正アクセスと見なされる恐れがあります。使用する権限があるネットワークだけを利用し、それ以外のネットワークには接続しないように注意してください。

また、セキュリティに関する設定が適切に行われていないときは、次のような問題が発生する恐れがありますので注意してください。

- 通信の傍受

悪意ある第三者によって Wi-Fi の電波を傍受され、通信内容を盗み見られる恐れがあります。

- ネットワークへの不正アクセス

悪意ある第三者によって、お使いのネットワークに不正に侵入され、情報の盗難・改ざん・破壊をされるといった被害に遭う恐れがあります。また、別の人物を装ってネットワークに不正な情報を流す「なりすまし」通信がされたり、「踏み台」と呼ばれる別の不正アクセスへの中継地点にされたりする恐れもあります。

こうした問題が発生する可能性を少なくするため、Wi-Fi のセキュリティを確保するための仕組みや機能を必ず使ってください。

Wi-Fi のセキュリティについて理解し、利便性とリスクのバランスをよく考えたセキュリティに関する設定を行った上で、本製品の Wi-Fi 機能をお使いいただくことをおすすめします。

第三者のソフトウェア

- AES-128 Library

Copyright (c) 1998-2008, Brian Gladman, Worcester, UK. All rights reserved.

LICENSE TERMS

The redistribution and use of this software (with or without changes) is allowed without the payment of fees or royalties provided that:

1. source code distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer;
2. binary distributions include the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in their documentation;
3. the name of the copyright holder is not used to endorse products built using this software without specific written permission.

DISCLAIMER

This software is provided 'as is' with no explicit or implied warranties in respect of its properties, including, but not limited to, correctness and/or fitness for purpose.

- CMSIS Core header files
Copyright (C) 2009-2015 ARM Limited.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

- KSDK Peripheral Drivers, Flash / NVM, KSDK H/W Abstraction Layer (HAL)
(c) Copyright 2010-2015 Freescale Semiconductor, Inc.
ALL RIGHTS RESERVED.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- * Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- * Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- * Neither the name of the <organization> nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL <COPYRIGHT HOLDER> BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

カメラを貸出・修理依頼・譲渡・廃棄するときの注意

カメラに個人情報を登録したり Wi-Fi のパスワードなどのセキュリティ情報を設定したときは、それらの情報がカメラ内に残っている可能性があります。

カメラを貸したり修理などで一時的に手放すときや、譲渡または廃棄するときは、情報の漏洩を避けるため、以下の作業を行ってください。

- 設定したセキュリティ情報は、無線通信の設定にある [設定初期化] を使って消してください。

商標、ライセンスについて

- Microsoft、Windows は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Macintosh、Mac OS は、米国およびその他の国で登録されている Apple Inc. の商標です。
- App Store、iPhone、iPad は、Apple Inc. の商標です。
- SDXC ロゴは SD-3C, LLC. の商標です。
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi[®]、Wi-Fi Alliance[®]、WPA[™]、WPA2[™] および Wi-Fi Protected Setup[™] は Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、キヤノン株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- その他の社名、商品名などは、各社の商標または登録商標です。
- 本機器は、Microsoft からライセンスされた exFAT 技術を搭載しています。
- This product is licensed under AT&T patents for the MPEG-4 standard and may be used for encoding MPEG-4 compliant video and/or decoding MPEG-4 compliant video that was encoded only (1) for a personal and non-commercial purpose or (2) by a video provider licensed under the AT&T patents to provide MPEG-4 compliant video. No license is granted or implied for any other use for MPEG-4 standard.

- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このガイドについて

- 内容を無断で転載することは、禁止されています。
- 記載されている数値はすべて当社試験基準によります。
- 内容および製品の仕様や外観を将来予告なく変更することがあります。
- イラストや画面表示は、実際と一部異なることがあります。
- 本製品を運用した結果については、上記にかかわらず責任を負いかねますので、ご了承ください。

索引

数字

1 点 AF 114

アルファベット

A

AEB 撮影 102

AE ロック 75

AF フレーム 114

AF 方式 114

AF 補助光 119

AF ロック 86

Av (撮影モード) 71

B

Bluetooth 170, 172, 197

C

C1 / C2 (撮影モード) 227

Camera Connect 170, 178

CANON iIMAGE GATEWAY 190,
191

D

DPOF 155

F

FE ロック 92

G

GPS 情報記録 180

H

HDMI ケーブル 240

I

ISO 感度 104

M

MF (手動ピント合わせ) 84

MF ピーキング 85

MWB 110

M (撮影モード) 72

P

PictBridge (ピクトブリッジ) 182,
239, 247

P (撮影モード) 68

R

RAW 87

T

Tv (撮影モード) 69

W

Web サービスへの送信 190

Wi-Fi 機能 169

かな

あ

赤目補正 158

アクセサリ 238

圧縮率 87

アッテネーター 127

い

色あい (ホワイトバランス) 109

色温度 109

印刷 155, 182, 247
インデックス表示 142

う

ウィンドカット 127
打ち上げ花火（撮影モード） 59

え

エコモード 206
エラー表示 251

お

オートモード（撮影モード） 49
オートライティングオブティマイザ
105
お気に入り設定（レーティング）
162

か

カード 21, 22
回転 151
外部マイク 245
顔＋追尾優先 AF 114, 115
拡大表示 140
画質 87
カスタム機能 224
画像

消す 152
表示時間 90
保護 148

画像番号 201
画像プロテクト 148
画像を送る 190
画像をパソコンに取り込む 246
カメラ
設定初期化 229

画面

表示一覧 255, 257
表示言語 24, 210

き

キャッチ AF 115
魚眼風（撮影モード） 62
記録画質 87
記録画素数（画像の大きさ） 87

く

クイック設定画面 39
基本操作 36
クリエイティブフィルター（撮影モー
ド） 61
グリッドライン 217

け

消す 152
検索 164

こ

故障 251

さ

サーボ AF 113
撮影
撮影情報 255

し

ジオラマ風（撮影モード） 63, 64
ジオラマ風動画 130
自動水平補正 122
自分撮り（撮影モード） 58, 60
ジャンプ表示 165
充電 20

す

ズーム 27, 49, 74
水彩風（撮影モード） 63
スタイル設定 112
ストラップ 19
ストロボ
 スローシンクロ 91
 調光補正 94
 発光禁止 91
 発光タイミング 96
 モード 91
スポーツ（撮影モード） 56
スポット 1 点 AF 114
スマートフォンへの送信 172, 179
スライドショー 163

せ

接続情報の変更／削除 198
設定初期化 229
節電 207
セルフタイマー 99

そ

測光方式 106
ソフトウェア
 パソコンへの自動送信 186
ソフトフォーカス（撮影モード） 62

た

タイムラプス動画（撮影モード）
 134
縦横比を変える 89
端子 240, 246, 247

ち

調光補正 94

て

デジタルズーム 74
デジタルテレコンバーター 123
手ブレ補正 120
手持ち夜景（撮影モード） 59
テレビで見る 240
電源 238
電子音 212

と

トイカメラ風（撮影モード） 63
動画
 アルバム編集 166
 記録サイズ 125
 編集 143
動画サーボ AF 128
動画マニュアル露出（撮影モード）
 66
トリミング（画像の切り抜き） 159

は

パソコンへの取り込み 246
発光禁止 91
バッテリー
 エコモード 206
 充電 20
 節電 207
バッテリーチャージャー（充電器）
 238
パノラマ（撮影モード） 54

ひ

ピクトブリッジ（PictBridge） 182,
 239, 247
日付／時刻／エリア
 設定 24
 変更 209
ビデオスナップ 132

ビデオ方式 211
美肌（撮影モード） 58
表示一覧 255, 257
表示言語
 設定 24
 変更 210
ピント合わせ
 AF フレーム 114
 AF ロック 86
 MF ピーキング 85
 サーボ AF 113
ピント位置拡大 84

ふ

フォーカスゾーン
 マクロ 83
 マニュアルフォーカス 84
フォトブック指定 157
プラスムービーオート（撮影モード）
 53
フレーミングアシスト
 固定 81
 探索 76
プログラム AE 68
プロテクト 148

へ

編集
 赤目補正 158
 トリミング（画像の切り抜き）
 159
 リサイズ（画像を小さくする）
 161

ほ

ポートレート（撮影モード） 58
保護 148
ホワイトバランス（色あい） 109

ま

マイメニュー 233
マクロ（フォーカスゾーン） 83
マニュアルフォーカス（フォーカス
 ゾーン） 84
マニュアルホワイトバランス 110

み

見る 29, 138
 1 枚表示 138
 インデックス表示 142
 拡大表示 140
 画像の検索 164
 ジャンプ表示 165
 スライドショー 163
 短編動画（ダイジェスト動画）
 141
 テレビで見る 240

む

無線機能 169, 259

め

メニュー
 一覧 40
 基本操作 37

ゆ

油彩風（撮影モード） 62

ら

ラフモノクロ（撮影モード） 62
ランプ 34, 119

り

リサイズ（画像を小さくする） 161
料理（撮影モード） 58

れ

レーティング 162

連続撮影 98

ろ

露出

AE ロック 75

FE ロック 92

補正 101